

人づくり

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 人権啓発の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、生き生きと暮らせる社会の実現	現状	多様な人権侵害が発生している	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市民の人権に対する理解が不十分	啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R3	R4	R5		
(7) 「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」と考える市民の割合(市民満足度調査)	73.3 (R1)	77.9	80.2	82.5	85.0 (R6)	%
(4)	()				()	
(5)	()				()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度		6,144				
		5,119				
R4年度		4,863				
		3,835				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	3・1・6 人権啓発推進事業	人権男女共同参画課	1.40	6,144	4,863
合計			1.40	6,144	4,863

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	① 人権啓発の推進

事業の概要				
戦略	1 啓発等の実施	予算	4,863 千円	前年度 6,144 千円
事務事業	1-1 人権啓発推進事業	予算	4,863 千円	前年度 6,144 千円

内容

1-1_人権啓発の推進

- ① 人権啓発の推進 (4,863 千円 (前年度 6,144 千円))
 - ア 啓発活動の実施 (うち 2,918 千円 (前年度 2,891 千円))
 - 人権フェスティバルひがしひろしまの開催 12月
 - 人権教育・人権啓発指導者研修会の開催 10月 (オンライン配信)
 - イ 人権擁護事業への補助 (うち 749 千円 (前年度 748 千円))
 - 東広島竹原人権擁護委員協議会が実施する事業への補助



令和3年度人権教育・人権啓発指導者研修会 (R3.10.25)

「人権フェスティバル 2021 ひがしひろしま」 (R3.12.4)

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 男女共同参画の推進	主管部局・所属	生活環境部 人権男女共同参画課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	現状	固定的な性別役割分担意識が根付いている	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市民の男女共同参画に対する理解が不十分	啓発等の実施	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 「地域社会において男女の地位は平等だ」と考える市民の割合(市民満足度調査)	42.9 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	45.5	47.0	48.5	50.0 (R6)	%
(4)	()					()	
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度			3,829			
			3,828			
R4年度			4,265			
			4,263			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	3・1・6 男女共同参画推進事業	人権男女共同参画課	1.50	3,829	4,265
合計			1.50	3,829	4,265

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額	分析		

8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率	分析		

9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		

10 総合評価			
総合評価	<総評>		

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	② 男女共同参画の推進

事業の概要					
戦略	1 啓発等の実施	予算	4,265 千円	前年度	3,829 千円
事務事業	1-1 男女共同参画推進事業	予算	4,265 千円	前年度	3,829 千円
内容					
1-1_男女共同参画の推進					
① エスポワールの運営 (3,345 千円 (前年度 3,254 千円))					
男女共同参画に係る各種情報の収集、提供や電話相談での対応、講座開催					
【新】ア 「エスポワール」の紹介リーフレット作成 (うち 197 千円)					
イ 情報収集・提供					
(ア) 男女共同参画に関わる図書等の収集、閲覧、貸出及び紹介					
(イ) メールマガジンの配信 毎月 1 回 (年間 12 回)					
ウ 活動支援					
(ア) 女性団体への活動スペース等の提供					
エ 講座					
(ア) おしゃべりカフェ連続講座の開催 5 回					
(イ) おしゃべりカフェ特別講座の開催 (男女共同参画に係る映画上映) 1 回					
② 啓発活動の開催 (712 千円 (前年度 575 千円))					
ア キャリアデザイン講座					
目的: 将来の進路選択時期を迎えている者へのライフプランについて考えるきっかけづくり					
対象: 市内高校 2 校					
イ 男女共同参画の人形劇					
目的: 固定的な性別役割分担意識への気づきを与えることによる男女共同参画の意識の醸成					
対象: 幼稚園、保育所の幼児とその保護者 4 園					
【新】ウ 出張型エスポワールの実施 (うち 242 千円)					
(ア) 出張おしゃべりカフェの実施					
市内中心部に位置するエスポワールに来れない人たちを想定して児童館や各支所等の協力を得て、出張型エスポワールを実施し、子育て世代への男女共同参画を啓発する。					
(イ) おでかけ男女共同参画の実施					
初年度は、市内数か所の地域へ出かけて行く。災害時等の避難所等へ女性の視点を加えることの重要性を啓発していく。					
③ 男女共同参画推進審議会 (208 千円 (前年度 208 千円))					

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
施策の将来の目標像	様々な啓発や教育機会の充実によって、市民の人権意識が着実に高まり、誰もが互いに尊重しあい、自らの個性と能力が発揮でき、世界の恒久平和を志向する人材が数多く育つ社会となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H25年度)	目標値 (R6年度)
	「日常生活の中で、人権が大切にされている」と思う人の割合	41.6%	45.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 平和を希求する人材の育成	主管部局・所属	総務部	総務課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	戦争の愚かさや原爆の悲惨さを理解し、平和への願いを語る人材の輩出	現状	啓発や教育機会の不足により、平和を志向する人材が育成できていない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを知る機会が減少している。	平和に関する啓発の場の確保	高	1	
	平和に関する資料(情報)の確保	低	2	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R3	R4	R5		
(7) 市内小中学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	15 (H30)	50	70	90	100 (R6)	%
(4) 市内高等学校における被爆体験証言講話または巡回原爆展の実施率の倍増(過去開催累積)	0 (R1)	40	60	80	100 (R6)	%
(7) 平和学習バスに参加し、平和の尊さを学び、発信した児童・生徒の数	45 (R3)	47	46	92	92 (R6)	人

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R3年度		2,860				
		2,860				
R4年度		1,589				
		1,589				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	2・1・12 平和行政推進事業	総務課	0.30	1,047	1,047
2-1	2・1・12 平和資料保存事業	総務課	0.10	1,813	542
合計			0.40	2,860	1,589

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	1 人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	③ 平和を希求する人材の育成

事業の概要					
戦略	1	平和に関する啓発の場の確保	予算	1,047 千円	前年度 1,047 千円
事務事業	1-1	平和行政推進事業	予算	1,047 千円	前年度 1,047 千円

内容

1-1_平和に関する事業の推進

戦後 76 年を迎え、戦争の記憶が薄れる中、戦争・被爆体験者から直接、戦争の悲惨さや核兵器の残虐さを聴くことのできる機会を設けるとともに、平和を希求する人材を育成する。

① 市民の記憶の継承（200 千円（前年度 200 千円））

平和祈念式典の開催などにより、市民の平和及び核兵器廃絶に対する意識の高揚を図る。

ア 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催

時期：7～8 月頃

会場：黒瀬生涯学習センター（健康福祉部共催）



戦没者追悼式並びに平和祈念式典



子ども平和メッセージ



平和学習バス参加者による献花

イ 被爆ピアノの演奏（うち 200 千円）

戦没者追悼式並びに平和祈念式典において被爆ピアノを演奏する。



被爆ピアノの演奏と児童合唱団
（令和 2 年度戦没者追悼式並びに平和祈念式典）

事業の概要

② 学習の場の提供（296 千円（前年度 296 千円））

小中学生をはじめ、市民が平和や非核兵器について学ぶ場を提供する。

ア 巡回原爆展の実施（うち 147 千円）

市内小中学校、高等学校、地域センター等で原爆展を開催する。

【活動指標】

開催回数 6 回

※R2 実績 3 回、R3 実績 5 回

イ 被爆体験証言者の派遣（うち 149 千円）

市内小中学校、高等学校、大学及び住民自治協議会等へ被爆体験証言者を派遣し、被爆体験の講話を行う。

【活動指標】

派遣回数 4 回

※R2 実績 1 回、R3 実績 2 回



巡回原爆展
(中学校)



巡回原爆展
(高等学校)






被爆体験の講話
(リモート開催)

③ 平和に関する広報（551 千円（前年度 551 千円））

「平和・非核兵器都市東広島市宣言」等の周知をはじめ、「原爆の日」・「終戦記念日」における黙とうを呼びかける。

ア 都市宣言デジタル表示盤の活用

市役所 2 階渡り廊下に設置した非核・平和都市宣言デジタル表示盤を活用し、平和へのメッセージ等を表示する。

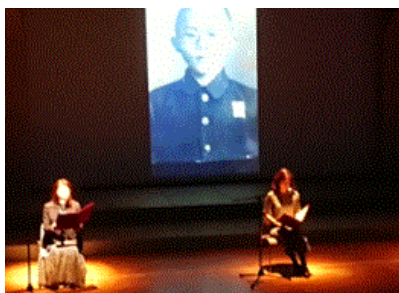
事業の概要													
戦略	2	平和に関する資料（情報）の確保	予算 542 千円	前年度 1,813 千円									
事務事業	2-1	平和資料保存事業	予算 542 千円	前年度 1,813 千円									
内容													
2-1_平和に関する資料の保存													
<p>原爆被爆資料を保存するとともに、戦争の愚かさと平和の重要性を若い世代に伝承する活動を支援する。併せて、全国の自治体や平和活動団体と連携し、平和・非核兵器に関する情報を確保する。</p> <p>① 原爆被爆資料保存事業等の支援（365 千円(前年度 1,662 千円)）</p> <p>東広島市原爆被爆資料保存推進協議会による平和学習活動、原爆被爆資料展示、被爆証言活動等を支援する。</p> <p>ア 平和学習活動</p> <p>市立小中学校の生徒・児童等が参加し、核兵器の悲惨さと平和の尊さを学ぶ、平和学習バスを開催する（7～8月）。</p> <p>【活動指標】</p> <p>児童・生徒数 46 人</p> <p>※R2 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止、R3 実績 45 人</p> <p>イ 原爆被爆資料展示</p> <p>市民文化センター内の原爆被爆資料展示室に、遺物や資料を展示し、特別展等を開催する。</p> <p>ウ 被爆証言活動</p> <p>被爆者が自らの体験を次代へ語り継ぎ、戦争の愚かさと恒久平和への道を示す活動を実施する。</p>													
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>平和学習バス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>原爆被爆資料展示室</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>被爆証言活動</p> </div> </div>													
<p>② 平和・非核兵器に関する情報収集の強化（177 千円(前年度 151 千円)）</p> <p>平和の推進のための全国研修会等へ参加し、他の自治体や平和活動団体との連携を深め、広域的かつ多角的に平和・非核兵器に関する情報を収集する。</p> <p>ア 平和団体との連携（うち 68 千円）</p> <p>日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議への加盟</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>加盟自治体数</th> <th>会長都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本非核宣言自治体協議会</td> <td>343</td> <td>長崎市</td> </tr> <tr> <td>平和首長会議</td> <td>1,736(国内) 8,063(全世界)</td> <td>広島市</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※ 令和4年1月現在</p>					団体名	加盟自治体数	会長都市	日本非核宣言自治体協議会	343	長崎市	平和首長会議	1,736(国内) 8,063(全世界)	広島市
団体名	加盟自治体数	会長都市											
日本非核宣言自治体協議会	343	長崎市											
平和首長会議	1,736(国内) 8,063(全世界)	広島市											

事業の概要

イ 平和に関する国内加盟都市会議（うち 109 千円）

自治体間の連携と情報交換のため、全国規模の研修会等へ参加する。

- ・ 日本非核宣言自治体協議会（研修会）
 - R3 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止
 - R4 那覇市（R4.5 予定）
- ・ 平和首長会議（国内加盟都市会議総会）
 - R3 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止
 - R4 広島市（R4.8 予定）



R1 平和首長会議(国内加盟都市会議総会)



R1 日本非核宣言自治体協議会(研修会)

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施 策	2 乳幼児期における教育・保育の充実
施策の将来の目標像	子どもたちの健やかな成長のため、子育て家庭に必要な養育力が備わり、質の高い教育・保育環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	子どもの育ちを実感できる人の割合	—	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 幼児教育・保育の充実	主管部局・所属	こども未来部 保育課
関係部局・所属	学校教育部	指導課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	質の高い教育・保育環境が整っている	現状	受け皿確保に優先的に取り組んでいる	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	教育・保育人材の資質の更なる向上と、保育環境の充実が必要である	乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 幼稚園に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的回答(楽しんで通っている)の割合	95.0 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	98	98	98	98 (R6)	%
(1) 保育所に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的回答(楽しんで通っている)の割合	0 (H30)		98	98	98	98 (R6)	%
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年 3 度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
		13,484				
		10,292				
	R 年 4 度	21,413				
		18,037				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	3・2・1 保育の魅力向上推進事業	保育課	2.00	13,380	21,377
1-2	10・4・1 幼保小連携推進事業	指導課	0.05	104	36
合計			2.05	13,484	21,413

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	2 乳幼児期における教育・保育の充実	① 幼児教育・保育の充実

事業の概要			
戦略	1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 21,413 千円	前年度 13,484 千円
事務事業	1-1 保育の魅力向上推進事業	予算 21,377 千円	前年度 13,380 千円
内容			
<p>1-1_保育の魅力向上の推進</p> <p>① 保育士等を対象とした研修の充実 (8,296 千円 (前年度 8,273 千円))</p> <p>ア 子育てサポート研修 (うち 1,840 千円) 保育実践につながる内容の研修を実施する。 (研修コース) 乳児保育、幼児教育、障害児保育、食育・アレルギー、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援</p> <p>イ キャリアアップ研修 (うち 259 千円) 保育士の処遇改善につながるキャリアアップ研修の参加を促進する。 (研修コース) 乳児保育、マネジメント</p> <p>ウ 東広島市保育コーディネーターを対象とした研修 (うち 161 千円) 施設運営の中核を担う保育コーディネーターの育成、連携を図る研修を行う。 (内容) 保育コーディネーターの役割、ソーシャルワーク、関係機関との連携</p> <p>エ 施設長のマネジメント力の強化 (うち 408 千円) 施設全体のマネジメントを行う立場にある施設長を対象とした研修を実施する。</p> <p>オ 外部講師を活用した園内研修の充実 (うち 836 千円) 県の幼児教育アドバイザー及び大学講師等の外部講師を活用した園内研修の充実を図る。</p> <p>カ 保育支援アドバイザーによる支援 (うち 2,546 千円) 保育支援アドバイザーの巡回相談等より若手保育士や保育事業者を支援する。</p>			

事業の概要

② 保育環境の充実 (9,700 千円 (前年度 5,000 千円))

ア 子どもの5つの力を育む保育環境づくり

保育室及び園庭等の改善により、子どもの豊かな体験を生む環境づくりを支援する。



③ 広島大学との連携推進 (Town&Gown) (3,381 千円)

【新】ア 未来を担う子どもの育ちサポート

乳幼児期における教育・保育の質向上のため、大学と連携しながら研究と実践を一体的に推進し、新しい幼児教育・保育モデルを構築する。

事業の概要

戦略	1 乳幼児教育・保育の質の向上(施設における育成支援)	予算 21,413 千円	前年度 13,484 千円
事務事業	1-2 幼保小連携推進事業	予算 36 千円	前年度 104 千円

内容

1-2_幼稚園、保育所、小学校の連携・接続の推進

① 幼保小連携研修の実施 (36 千円 (前年度 104 千円))

幼保小の接続を見通したカリキュラムの編成や連携した取組みを推進するために、幼保小の担当者が相互理解を深めるための研修を実施する。

【活動指標】

幼保小連携研修の実施：2回

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 学校運営の支援と教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課
	学校教育部 学校給食センター		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	本市の高い教育水準が維持されるとともに、学校業務の抱え込みを解消することが出来る	現状	学校長のマネジメントに支援を要する状況及び伝統による高い教育水準が困難な状況が見られる	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	学校運営・教育内容両面においてデジタル化の推進が必要	学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	高	1
	新しい教育課題に対応するためには、教員の力量形成が不可欠	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	高	2
	安全且つ魅力的な施設の観点において計画的施設整備が不可欠	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修	低	3
	多様化する教育課題の対応に加え、特色ある教育活動を行うための学校運営を支援する仕組みが求められている	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R3	R4	R5		
(7) 「全国学力・学習状況調査」において、正答率40%未満の児童の割合	9 (R1) マイナス指標設定	8.5	8.3	8.0	8.0 (R5)	%
(4) 「全国学力・学習状況調査」において、正答率40%未満の生徒の割合	17 (R1) マイナス指標設定	16.0	15.5	15.0	15.0 (R5)	%
(ウ) 研修したことが児童生徒の指導に活かされていると回答する教職員の割合	85 (R1)	86.0	86.5	87.0	87.0 (R5)	%

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年 度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	3		3,635,776			
	3		1,401,294			
	4		4,645,756			
	4		2,207,658			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・2・1及び10・3・1 小・中学校情報機器管理事業	教育総務課	3.00	384,307	392,561
1-2	10・1・3 未来の学び推進事業	教育総務課	1.00	19,260	25,219
2-1	10・1・3 学校教育推進事業	指導課	2.13	69,818	23,529
2-2	10・1・3 外国語教育推進事業	指導課	0.75	107,647	118,778
2-3	10・1・3 学校図書館運営事業	指導課	0.50	30,020	33,196
2-4	10・2・2及び10・3・2 小・中学校図書整備事業	指導課	0.40	14,813	14,815
3-1	10・2・3及び10・3・3 小・中学校施設整備事業	教育総務課	3.40	2,549,781	3,502,647
4-1	10・1・3 学校支援センター運営事業	教育総務課	1.00	17,198	27,053
4-2	10・1・3 学校の元気応援事業	指導課	2.33	67,319	87,583
4-3	10・1・3 部活動等支援事業	指導課	0.50	28,556	32,222
4-4	10・1・3 小中一貫教育推進事業	指導課	1.50	3,989	5,710
4-5	10・1・3 教育交流事業	教育総務課	0.50	2,981	2,219
4-6	10・2・1及び10・3・1 小・中学校運営事業	学事課	2.20	61,402	66,382
4-7	10・2・1及び10・3・1 小・中学校通学支援事業	学事課	0.80	174,701	210,876
4-8	10・1・3 学校保健事業	学事課	2.25	102,633	102,765
4-9	10・6・3 学校給食センター食育推進事業	学校給食センター	0.30	1,351	201
合計			22.56	3,635,776	4,645,756

R4 事業費の分析 (差額 = 「R4 年度当初予算額」 - 「R4 年度決算額」)		
説明	分析	
8 R4 成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	役人員数、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外部要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題	課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	① 学校運営の支援と教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	予算 417,780 千円	前年度 403,567 千円
事務事業	1-1 小・中学校情報機器管理事業	予算 392,561 千円	前年度 384,307 千円

内容

1-1_小・中学校情報機器の管理

① 校務・学習用タブレットの整備及び管理

(198,669 千円 (前年度 207,392 千円))

既存機器のリースのほか、劣化した機器の更新等を行う。

② 大型提示装置（電子黒板）の整備及び管理

(26,018 千円 (前年度 25,625 千円))

既存機器のリースのほか、劣化した機器の更新等を行う。

③ 情報通信ネットワーク環境の整備及び管理

(38,171 千円 (前年度 21,654 千円))

学校のインターネット回線及び無線LANアクセスポイント等の整備及び管理を行う。また、授業目的公衆送信補償金制度に加入し、オンライン授業等における著作権問題に対応する。

④ 統合サーバ・校務支援システムの運用及び管理

(77,422 千円 (前年度 77,355 千円))

校務支援システム、ファイルサーバ等の仮想端末が稼働するサーバ基盤機器等のリース及び管理運用を行う。

⑤ 家庭学習環境（通信回線・デジタルドリル）の整備及び管理

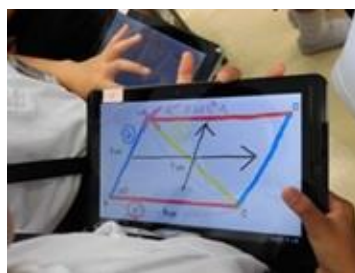
(16,281 千円 (前年度 16,281 千円))


就学援助世帯へのモバイルルータ貸与に伴う通信回線と全児童生徒のデジタルドリルを購入し、家庭学習等の環境を整える。

⑥ ICT支援員業務（研修・ヘルプデスク）の委託

(36,000 千円 (前年度 36,000 千円))

支援員業務の委託により、環境整備やトラブル対応、校内研修や授業支援などICTの活用を支援する。



事業の概要			
戦略	1	学校教育の情報化を活かした未来につながる教育内容の展開	予算 417,780 千円 前年度 403,567 千円
事務事業	1-2	未来の学び推進事業	予算 25,219 千円 前年度 19,260 千円
内容			
1-2_未来の学びの推進			
① 特定分野のデジタル教材整備（19,608 千円（前年度 18,060 千円）） 電子百科事典、英語及び体育のデジタル教材を導入する。			
ア 電子百科事典 小中学校全学年を対象に、電子百科事典を令和 3～5 年度（3 年契約）で導入しており、学校及び家庭での調べ学習に活用する。			
イ 外国語科デジタル教材			
(ア) 小学校児童用教材 A I によるスピーキングパフォーマンステスト機能を有し、教師の負担軽減となる教材を令和 3 年度に引き続き導入し活用する。			
(イ) 中学校教師用及び生徒用教材 豊富な音声教材や英文例を含み、教師の教材づくりや生徒の個別最適な学びを支援する教材を令和 3 年度に引き続き導入し活用する。			
【拡】ウ 中学校体育科デジタル教材 体づくり運動の手本動画を含み、生徒が自身に必要な練習メニューを把握及び計画できる教材を中学校全校に導入することで個別最適な学びを支援する。			
② 大学連携等による授業研究及び実践（3,611 千円（前年度 1,200 千円）） 大学連携等による遠隔授業の研究や青年会議所共催による I C T 作品コンペ等を行う。			
  			
【新】③ 特色ある学校教育の広報（2,000 千円（前年度 0 円）） 各学校の特色ある教育や I C T を活用した授業等の実践を積極的に広報することで、本市の未来の学びを推進する。			

事業の概要			
戦略	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	2	予算 190,318 千円 前年度 222,298 千円
事務事業	2-1 学校教育推進事業		予算 23,529 千円 前年度 69,818 千円
内容			
2-1_学校教育の推進			
<p>① 市教育推進指定校による研究会の実施（1,485 千円（前年度 1,835 千円）） 小中学校における先進的な教育研究と研究公開を支援し、その研究成果を市内へ普及させる。</p> <p>【活動指標】 市教育推進指定校による研究会の実施：6 校 （三永小、八本松小、小谷小、乃美尾小、松賀中、豊栄中）</p> <p>② 市教育委員会主催研修の実施（1,300 千円（前年度 1,230 千円）） 全教職員を対象とした研修を実施し、学校教育レベルアッププランを周知するとともに、これからの社会を生きるために重視する資質・能力の育成に必要な専門的な知識を習得させる。</p> <p>【活動指標】 全教職員研修の実施：3 回 管理職研修の実施：2 回</p> <p>③ 標準学力検査（NRT）の実施（6,123 千円（前年度 6,142 千円）） 児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、指導内容や指導方法の改善・充実を図るために、標準学力調査（NRT）を実施する。</p> <p>④ 体力向上応援プロジェクトの推進（190 千円（前年度 341 千円）） 体育・保健体育の授業改善の取組を推進し、授業の質を向上させることで、児童生徒の運動・スポーツへの意欲を高め、体力の一層の向上を図る。</p> <p>【活動指標】 体育・保健体育授業力向上研修等の実施：2 回</p> <p>【新】⑤ 独創教育の推進（133 千円（前年度 0 千円）） 東広島市教育の源流である独創教育の調査研究等を通して、新しい時代に求められる教育の在り方を検討し、その研究成果を市内へ普及させる。</p> <p>【活動指標】 プレイベントの開催：1 回</p>			

事業の概要			
戦略	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	2	予算 190,318 千円 前年度 222,298 千円
事務事業	2-2 外国語教育推進事業		予算 118,778 千円 前年度 107,647 千円
内容			
2-2_外国語教育の推進			
<p>① 外国語指導助手の派遣 (116,981 千円 (前年度 105,731 千円)) 外国語教育の充実を図るために、JETプログラムの外国語指導助手 (ALT) を小中学校に派遣する。</p> <p>【活動指標】 外国語指導助手 (ALT) の派遣 : 19 人 外国語指導助手 (ALT) コーディネーターの配置 : 1 人</p> <p>② 外国語指導力向上研修の実施 (87 千円 (前年度 153 千円)) 小中学校における外国語教育の充実及び円滑な接続を推進するために、外国語指導者の指導力を向上する研修を実施する。</p> <p>【活動指標】 外国語指導力向上研修の実施 : 1 回</p> <p>③ 英検 I B A の実施 (1,650 千円 (前年度 1,650 千円)) 生徒の英語力の把握及び教員の指導方法の改善につなげるために、中学校第 2・3 学年全ての生徒を対象に英検 I B A を実施する。</p> <p>【活動指標】 英検 I B A の実施 : 年 1 回</p>			

事業の概要					
戦略	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	2	予算 190,318 千円 前年度 222,298 千円		
事務事業	2-3 学校図書館運営事業		予算 33,196 千円 前年度 30,020 千円		
内容					
2-3_学校図書館運営の推進					
【拡】① 学校司書の配置 (29,323 千円 (前年度 26,124 千円))					
学校図書館の整備や学校図書館を活用した教育の充実を図るために、小中学校に専門的知識を有する学校司書を配置する。					
【活動指標】					
学校司書の配置：小学校 32 校 14 人 (R 3 年度：33 校 11 人)					
中学校 14 校 14 人 (R 3 年度：14 校 14 人)					
※配置率 1.64 校に 1 人 (国の基準 1.5 校に 1 人)					
小学校の学校司書数					
	R 1	R 2	R 3	R 4 (予定)	R 5 (予定)
学校司書数	9 人	11 人	11 人	14 人	17 人
1 人当たりの校数	3～4 校	3～4 校	3 校	2～3 校	1～2 校
中学校の学校司書数					
	R 1	R 2	R 3	R 4 (予定)	R 5 (予定)
学校司書数	14 人	14 人	14 人	14 人	14 人
配置校	全校配置 (もみじ中学校は除く)				
② 学校図書館システムの管理運営 (3,873 千円 (前年度 3,896 千円))					
システム保守業務の委託等を通して、もみじ小中学校を除く全小中学校に配備している学校図書館システム探調 TOOL の円滑な運用を図る。					
【活動指標】					
学校図書館システム探調 TOOL の運営：46 校					

事業の概要			
戦略	2	新たな教育へ対応するための校内研修の充実及び東広島教育の伝統追求	予算 190,318 千円 前年度 222,298 千円
事務事業	2-4	小・中学校図書整備事業	予算 14,815 千円 前年度 14,813 千円
内容			
<p>2-4_小・中学校の図書整備</p> <p>① 小・中学校の図書の購入（14,815 千円（前年度 14,813 千円）） 小・中学校図書館の蔵書の充実を図ることにより、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書活動の活性化を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <p>図書の購入：小学校 4,680 冊 中学校 2,750 冊</p>			

事業の概要						
戦略	3	未来的志向での学校施設整備及び長寿命化計画に基づく学校施設の大規模改修			予算 3,502,647 千円	前年度 2,549,781 千円
事務事業	3-1	小・中学校施設整備事業			予算 3,502,647 千円	前年度 2,549,781 千円
内容						
3-1_小・中学校の施設整備等						
【新】① 西条小学校増築等工事实施設設計業務（うち 55,329 千円）						
普通教室の不足解消のために建設した仮設教室が耐用年数をむかえ、経年劣化も進行していることから、仮設校舎を廃止し増築棟を建設する。						
	R4	R5	R6	R7	工事概要	
設計業務					概算総事業費：約 9.4 億円	
工 事					R4 事業内容：設計業務	
② 川上小学校長寿命化改良設計業務（うち 39,329 千円）						
普通教室の不足、35 人学級対応、多様な学習形態の確保等も含め、将来の各諸室の配置計画を見据えた長寿命化改良工事及び増築工事を行う。						
	R3	R4	R5	R6	工事概要	
設計業務					概算総事業費：約 36 億円	
工 事					R4 事業内容：設計業務	
③ 西条中学校長寿命化改良工事（うち 1,120,012 千円）						
将来に渡って長く使い続けるため校舎及び屋内運動場の長寿命化改良工事を行う。						
	R3	R4	R5	R6	工事概要	
設計業務					概算総事業費：約 25 億円	
工 事					R4 事業内容：長寿命化改良工事	
④ 東西条小学校長寿命化改良工事（うち 1,003,532 千円）						
普通教室の不足、35 人学級対応、多様な学習形態の確保等も含め、将来の各諸室の配置計画を見据えた長寿命化改良工事及び増築工事を行う。						
	R3	R4	R5	R6	工事概要	
設計業務					概算総事業費：約 22.7 億円	
工 事					R4 事業内容：長寿命化改良工事	
⑤ 川上小学校グラウンド造成工事（うち 282,400 千円）						
グラウンド内への仮設教室設置や児童増に伴いグラウンドの必要面積が不足していることから、隣接地に新たなグラウンドを築造する。						
	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
実施設計						R4 事業内容：造成工事
工 事						

事業の概要

⑥ 河内小中学校進入路拡張工事（うち 111,581 千円）

河内小学校の河内中学校敷地内への移転に伴い、河内小中学校の入り口の道路拡張工事を実施し、スクールバス等の車両の通行ができるよう道路の拡張工事を行う。

	H30	R1	R2	R3	R4	工事概要
設 計						R4 事業内容：進入路拡幅工事
工 事						

【新】⑦ 志和中学校テニスコート整備設計（うち 14,500 千円）

隣接地にある志和生涯学習センター解体跡地に、テニスコートを整備する。

	R4	R5	工事概要
設 計			R4 事業内容：テニスコート及び屋外照明設計
工 事			

【新】⑧ 小中学校特別教室等空調設置工事（リース事業）（うち 192,652 千円）

各小中学校の特別教室等に空調設備を設置する。

⑨ 小・中学校屋内運動場空調設備設置計画策定業務（うち 4,500 千円）

小・中学校の屋内運動場に空調設備を設置するための全体事業計画を策定する。

⑩ その他

ア バリアフリー対策としてのエレベータを設置（うち 178,363 千円）

- ・ 松賀中学校エレベータ設置工事

イ 空調PFI事業（保守管理）（うち 71,131 千円）

ウ 安芸津中学校屋内運動場空調設備運営事業（ESCO 事業）

（うち 9,993 千円）

エ 個別改修等（うち 419,325 千円）

- ・ 豊栄小学校プール改築工事
- ・ 八本松小学校屋外便所新築工事
- ・ 受変電設備改修工事（御藪宇小、板城西小、乃美尾小）
- ・ 寺西小学校屋内体育館屋根改修工事
- ・ 豊栄小学校屋根防水改修設計及び工事
- ・ 御藪宇小学校公共下水道接続工事
- ・ トイレ洋便器化事業など

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円
事務事業	4-1	学校支援センター運営事業	予算 27,053 千円 前年度 17,198 千円
内容			
4-1_学校運営の支援と教育内容の充実			
【新】① 学校支援センターの設置 (27,053 千円 (前年度 17,198 千円))			
<p>スクールサポートセンターを改組し、スクールサポーター (退職教員) による支援 (教科指導、学校経営、学校環境、部活動) に加え、若手教員に対して伴走型支援を行う。</p> <p>また、教員に対しての I C T を活用した研修メニューを開発し、オンデマンド型の研修システムを構築する。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置場所 当面は児童青少年センターの余裕スペースを活用 ・ 運営体制 センター長 1 名、職員 4 名 (退職教員)、事務職員 1 名 			

事業の概要															
戦略	4 特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円	前年度 460,130 千円												
事務事業	4-2 学校の元気応援事業	予算 87,583 千円	前年度 67,319 千円												
内容															
4-2_学校の特色ある教育活動の応援															
① 特色ある学校づくりの支援 (7,835 千円 (前年度 7,550 千円)) 現状からさらに高みをめざす自主的・主体的な取組や地域に貢献しようとする児童生徒を育成する取組など、特色ある学校づくりの取組を支援する。 【活動指標】 校内研修における講師の派遣：61 回 一校一和文化学習等における講師の派遣：80 回 マイタウンティーチャー (学生を含む) の派遣：1,560 回															
② 学校経営のアドバイス (11,049 千円 (前年度 10,716 千円)) 学校経営や優れた教科指導、生徒指導、部活動指導の力量や経験を有する退職管理職及び教員を学校経営アドバイザーとして派遣する。 【活動指標】 学校経営アドバイザーの派遣：320 回 (4 人)															
【拡】③ 教科等指導支援員の配置 (21,013 千円 (前年度 18,628 千円)) 教科指導における課題や特別支援学級における教科指導に対応するために、学習指導ができる教科等指導支援員を配置する。 【活動指標】 教科等指導支援員の配置：8 校 8 人 (R 3 年度：7 校 7 人) 教科等指導支援員数及び配置校															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4 (予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6 人</td> <td>7 人</td> <td>7 人</td> <td>8 人</td> </tr> <tr> <td>西条中 八本松中 黒瀬中 安芸津中 中央中 川上小</td> <td>西条中 向陽中 高屋中 志和中 豊栄中 安芸津中 中央中</td> <td>西条中 向陽中 八本松中 黒瀬中 豊栄中 安芸津中 中央中</td> <td>西条中 向陽中 八本松中 黒瀬中 豊栄中 安芸津中 中央中 高屋中</td> </tr> </tbody> </table>				R 1	R 2	R 3	R 4 (予定)	6 人	7 人	7 人	8 人	西条中 八本松中 黒瀬中 安芸津中 中央中 川上小	西条中 向陽中 高屋中 志和中 豊栄中 安芸津中 中央中	西条中 向陽中 八本松中 黒瀬中 豊栄中 安芸津中 中央中	西条中 向陽中 八本松中 黒瀬中 豊栄中 安芸津中 中央中 高屋中
R 1	R 2	R 3	R 4 (予定)												
6 人	7 人	7 人	8 人												
西条中 八本松中 黒瀬中 安芸津中 中央中 川上小	西条中 向陽中 高屋中 志和中 豊栄中 安芸津中 中央中	西条中 向陽中 八本松中 黒瀬中 豊栄中 安芸津中 中央中	西条中 向陽中 八本松中 黒瀬中 豊栄中 安芸津中 中央中 高屋中												
④ 中学校音楽会の開催 (1,798 千円 (前年度 2,596 千円)) 音楽会を通して、生徒相互の交流を深めるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、音楽を愛好する心情や態度を育てる。															
⑤ 小学校陸上・水泳記録会の開催 (3,047 千円 (前年度 2,843 千円)) 陸上記録会・水泳記録会を通して、児童相互の交流を深めるとともに、運動への意欲を高め、運動能力を向上させる。															

事業の概要

【拡】⑥ 学校運営協議会の推進 (42,708 千円 (前年度 24,864 千円))

ア 学校運営協議会委員の配置 (1,200 千円 (前年度 660 千円))

学校が地域とともによりよい学校運営を実施するため学校運営協議会を設置し、委員を配置する。

【活動指標】

学校運営協議会委員の任用：20 協議会 300 人

(R3 年度：11 協議会 165 人)

学校運営協議会設置校

H30	R1	R2	R3	R4 (予定)
1	1	8	11	20
風早小	風早小	風早小 高美が丘小・中 福富中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和中 河内中 寺西小	風早小 高美が丘小・中 福富小・中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小 志和小・中 河内小・中、入野小 寺西小 三永小 高屋東小 吉川小 郷田小 板城小 板城西小 乃美尾小 木谷小 三津小

※令和6年度に全ての小中学校に学校運営協議会を設置予定

イ コミュニティ・スクール推進員の配置

(41,508 千円 (前年度 23,404 千円))

学校運営協議会に係る連絡調整や地域学校協働活動推進員との連携など、学校運営の支援を図るためコミュニティ・スクール推進員を配置する。

【活動指標】

コミュニティ・スクール推進員の配置：20 協議会 20 人


(R3 年度：11 協議会 11 人)

コミュニティ・スクール推進員の業務内容及び特徴的な実績

業務内容	特徴的な実績
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール推進に係わる業務 ・地域学校協働活動の推進に係わる業務 ・地域学校協働活動推進員との連携業務 ・校長が求める学校運営に係る業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及び地域との連絡会議の実施 ・地域教材を活用した学習の連絡調整等 ・広報紙発行、掲示作成 ・学習支援 ・住民自治協議会役員会の出席

事業の概要																																																															
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円																																																												
事務事業	4-3	部活動等支援事業	予算 32,222 千円 前年度 28,556 千円																																																												
内容																																																															
4-3_部活動等への支援																																																															
<p>① 大会や団体への負担金及び補助金の支援(3,541 千円(前年度 3,468 千円)) 中学校体育連盟への加盟金を負担する。また、市内で実施される中国中学校駅伝競走大会や小学生体育連盟の事業に対して補助する。</p> <p>② 児童・生徒の大会への派遣費の補助(21,300 千円(前年度 21,020 千円)) 中学校体育連盟及び中学校文化部連盟主催の大会等への生徒の参加に係る保護者への負担軽減を図るために、基準に照らし、派遣費を補助する。また、全国大会へ出場する小学校に派遣費を補助する。</p> <p>【拡】③ 部活動指導員の配置(7,381 千円(前年度 4,068 千円)) 部活動を担当する教員の負担軽減を図り、部活動の適正な実施を推進するために、部活動指導員を配置する。</p> <p>【活動指標】 部活動指導員の配置：8校8人(R3年度：4校4人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和3年度配置状況</th> <th colspan="3">令和4年度配置計画</th> </tr> <tr> <th>学校名</th> <th>種目名</th> <th></th> <th>学校名</th> <th>種目名</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向陽中</td> <td>ソフトテニス</td> <td>継続</td> <td>向陽中</td> <td>ソフトテニス</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>八本松中</td> <td>陸上競技</td> <td>継続</td> <td>八本松中</td> <td>陸上競技</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>黒瀬中</td> <td>軟式野球</td> <td>継続</td> <td>黒瀬中</td> <td>軟式野球</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>磯松中</td> <td>バレーボール(女子)</td> <td>継続</td> <td>磯松中</td> <td>バレーボール(女子)</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高屋中</td> <td>バレーボール(女子)</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>西条中</td> <td>柔道</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>豊栄中</td> <td>陸上競技</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>志和中</td> <td>卓球</td> <td>新規</td> </tr> </tbody> </table>				令和3年度配置状況			令和4年度配置計画			学校名	種目名		学校名	種目名		向陽中	ソフトテニス	継続	向陽中	ソフトテニス	継続	八本松中	陸上競技	継続	八本松中	陸上競技	継続	黒瀬中	軟式野球	継続	黒瀬中	軟式野球	継続	磯松中	バレーボール(女子)	継続	磯松中	バレーボール(女子)	継続				高屋中	バレーボール(女子)	新規				西条中	柔道	新規				豊栄中	陸上競技	新規				志和中	卓球	新規
令和3年度配置状況			令和4年度配置計画																																																												
学校名	種目名		学校名	種目名																																																											
向陽中	ソフトテニス	継続	向陽中	ソフトテニス	継続																																																										
八本松中	陸上競技	継続	八本松中	陸上競技	継続																																																										
黒瀬中	軟式野球	継続	黒瀬中	軟式野球	継続																																																										
磯松中	バレーボール(女子)	継続	磯松中	バレーボール(女子)	継続																																																										
			高屋中	バレーボール(女子)	新規																																																										
			西条中	柔道	新規																																																										
			豊栄中	陸上競技	新規																																																										
			志和中	卓球	新規																																																										



事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円
事務事業	4-4	小中一貫教育推進事業	予算 5,710 千円 前年度 3,989 千円
内容			
4-4_小中一貫教育の推進			
<p>① 福富地域における小中一貫教育の推進 (520 千円 (前年度 601 千円)) アントレプレナー教育やドリームマップの作成など特色ある教育課程の実施を支援し、小中一貫教育の推進を図る。</p> <p>② 志和地域における小中一貫教育の推進 (3,692 千円 (前年度 1,951 千円)) e S T E A M教育など特色ある教育課程の実施を支援し、小中一貫教育の推進を図る。</p> <p>③ 河内地域における小中一貫教育の推進 (1,498 千円 (前年度 1,437 千円)) 地域創生プロジェクトや遠隔授業など特色ある教育課程の実施を支援し、小中一貫教育の推進を図る。</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円
事務事業	4-5	教育交流事業	予算 2,219 千円 前年度 2,981 千円
内容			
4-5_教育交流の推進			
<p>① 北海道北広島市との交流活動実施 (1,651 千円 (前年度 2,412 千円)) 姉妹都市である北海道北広島市の小中学校と相互に児童生徒を派遣し、交流することにより、両市の教育の発展と児童生徒の視野の拡大及び友好親善の精神を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流時期 8月に受入と派遣予定 ・ 受入人数 18名 ・ 派遣人数 19名 <p>【活動指標】 児童生徒の姉妹都市への理解が深まったと回答した交流校の割合：100%</p>			
			
			北広島市とのオンライン交流(地域や学校の紹介、姉妹校へ質問する様子)
<p>② 中国四川省徳陽市との交流活動実施 (568 千円 (前年度 569 千円)) 友好都市である中国四川省徳陽市と教育文化の交流を通じて、互いの友好親善を深め、児童生徒の国内外への視野を広げる。</p>			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円
事務事業	4-6	小・中学校運営事業	予算 66,382 千円 前年度 61,402 千円
内容			
4-6_小・中学校運営の支援 ① 学校運営体制の確保 (56,285 千円 (前年度 51,530 千円)) 【小学校への配置数】 看護師 3 名、学校事務職 3 名、養護講師 2 名 【中学校への配置数】 講師 8 名、学校事務職 5 名 ② 関係団体への負担金及び補助金 (3,688 千円 (前年度 3,566 千円)) 【負担金】 広島県連合小学校長会、広島県公立学校校長会連合会、広島県公立中学校長会、広島県公立小・中学校事務長会、広島県小学校教育研究会、広島県中学校教育研究会 【補助金】 東広島市小学校教頭会、東広島市中学校教頭会、東広島市立学校教育研究会			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円
事務事業	4-7	小・中学校通学支援事業	予算 210,876 千円 前年度 174,701 千円
内容			
4-7_小・中学生への通学支援 【拡】 ① 小学校の通学支援 (スクールバス・スクールタクシー運行) (178,860 千円 (前年度 143,585 千円)) 志和小学校の開校、及び河内小学校の移転に伴う通学支援 【対象小学校区】 板城小、志和小、中黒瀬小、福富小、豊栄小、河内小、入野小、風早小 ② 遠距離通学児童生徒の通学費補助 (4,440 千円 (前年度 3,663 千円)) 【小学校】 三ツ城小、川上小、中黒瀬小 【中学校】 高屋中、河内中 ③ 中学校の通学支援(スクールバス運行)(23,975 千円(前年度 24,089 千円)) 【対象中学校区】 高屋中 ④ 自転車通学生徒ヘルメット購入費の補助(2,744 千円(前年度 2,695 千円)) 【対象者】 市内全中学校生徒 (1,400 人分) 【補助率】 7 割			

事業の概要			
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円
事務事業	4-8	学校保健事業	予算 102,765 千円 前年度 102,633 千円
内容			
4-8_学校保健の推進			
① 各種健康診断及び各種学校環境衛生検査の実施 (85,191 千円 (前年度 85,116 千円))			
【健康診断実施内容】			
・ 児童生徒等の健康診断 (内科検診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診、結核検診、尿検査、心音心電図検査)			
・ 就学時の健康診断			
・ 教職員の健康診断、ストレスチェック			
【学校環境衛生検査実施内容】			
・ 空気中の化学物質濃度検査			
・ プール水及び飲料水水質検査			
・ 教室等の環境検査			
② 各種保険等への加入及び関係団体への補助金交付、研修等参加助成 (17,574 千円 (前年度 17,517 千円))			
【加入保険】			
・ 日本スポーツ振興センター災害共済			
・ 全国市長会学校災害賠償補償保険			
【負担金】			
・ 日本スポーツ振興センター			
・ 広島県学校保健会			
・ 衛生推進者・管理者等養成講習会参加費			
【補助金】			
東広島市学校保健会			

事業の概要												
戦略	4	特色ある教育活動に対する力強いサポートと、学校教育への地域の教育力導入促進	予算 535,011 千円 前年度 460,130 千円									
事務事業	4-9	学校給食センター食育推進事業	予算 201 千円 前年度 1,351 千円									
内容												
4-9_食育の推進												
<p>① 栄養士が各小中学校で実施する食育指導（64 千円（前年度 183 千円）） 生涯にわたって健康で生き生きした生活を送ることをめざし、児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるよう、小中学校で食に関する指導を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <table border="0"> <tr> <td>・食に関する指導</td> <td>実施時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>・リクエスト給食の実施・指導</td> <td>実施回数</td> <td>各小中学校 1 回/年</td> </tr> <tr> <td>・残食率</td> <td>集計回数</td> <td>毎食</td> </tr> </table> <p>② 食をテーマとしたイベントの実施（137 千円（前年度 168 千円）） 東広島学校給食センター施設開放イベント、安芸津学校給食センター料理教室を開催し、受配校の児童生徒保護者や地域の方との交流をとおして、地域と連携した食育推進を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 7 月～8 月 ・参加人数 施設開放イベント 600 名、料理教室 52 名を見込む。 				・食に関する指導	実施時期	通年	・リクエスト給食の実施・指導	実施回数	各小中学校 1 回/年	・残食率	集計回数	毎食
・食に関する指導	実施時期	通年										
・リクエスト給食の実施・指導	実施回数	各小中学校 1 回/年										
・残食率	集計回数	毎食										
												

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 特別なニーズに対応した教育の充実	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	学校教育部 教育総務課	学校教育部	学事課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	障害の有無、国籍、家庭の経済事情等に関わらず、全ての子どもが、夢に向かって自己実現できる教育環境が整う。	現状	現代的課題は増加し、学びのセーフティネット構築の必要性が学校教育、社会教育両面で益々求められている。		
課題		仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
特別支援教育の専門的な知識及び教育力が不足し、切れ目ない支援体制構築が求められている		特別な支援を要する児童生徒への教育推進		高	1
日本語指導体制の整備が十分とは言えず、子どもや保護者の困り感への対応が必要な状況である		外国につながる児童生徒への教育推進		中	2
経済的な理由により子どもの可能性を伸ばす日常的な学びが保障されていない状況が見られる		学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 特別支援学級に在籍する児童生徒保護者の教育活動に対する肯定的回答の割合	75 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	77.0	79.0	80.0	80.0 (R5)	%
(1) 「学校は多様なニーズに対して適切に対応している」と回答した保護者の割合	75 (R1)		76.0	76.5	80.0	80.0 (R5)	%
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	3 年度		555,552			
			549,102			
	4 年度		586,869			
			577,950			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・1・3 特別支援教育推進事業	指導課	0.60	8,048	10,027
1-2	10・2・2及び10・3・2 小・中学校教育支援者配置事業	指導課	0.85	342,201	364,765
2-1	10・1・3 外国につながる児童生徒への教育推進事業	指導課	0.40	7,110	7,243
3-1	10・2・2及び10・3・2 小・中学校就学支援事業	学事課	1.40	195,957	199,536
3-2	10・1・3 私立学校等助成事業	教育総務課	0.10	2,236	5,298
合計			3.35	555,552	586,869

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	② 特別なニーズに対応した教育の充実

事業の概要			
戦略	1 特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 374,792 千円	前年度 350,249 千円
事務事業	1-1 特別支援教育推進事業	予算 10,027 千円	前年度 8,048 千円
内容			
1-1_特別支援教育の推進			
① 特別支援教育に係る支援者の派遣（6,584 千円（前年度 4,636 千円））			
ア 特別支援教育サポーター及び特別支援教育大学生サポーターの派遣（うち 6,174 千円）			
通常学級や特別支援学級に在籍する発達障害のある児童生徒の学習支援等を行うために、特別支援教育サポーター及び特別支援教育大学生サポーターを派遣する。			
【活動指標】			
特別支援教育サポーターの派遣：3,700 時間			
特別支援教育大学生サポーターの派遣：2,400 時間			
イ 手話通訳者等の派遣（うち 410 千円）			
学校からの情報を確実に保護者に対して提供するために、手話通訳者及び要約筆記者を派遣する。			
【活動指標】			
手話通訳者及び要約筆記者の派遣：100 回			
② 巡回相談の実施（173 千円（前年度 173 千円））			
発達障害のある児童生徒の理解と指導や支援の向上を図るために、特別支援教育の専門家による巡回相談を実施する。			
【活動指標】			
巡回相談員の派遣：20 回			
③ 特別支援教育に係る会議等の開催（203 千円（前年度 207 千円））			
ア 教育支援委員会の開催（うち 175 千円）			
障害のある幼児児童生徒に対し、その能力及び特性に応じた適切な教育を行うために、教育支援委員会を設置し開催する。			
【活動指標】			
教育支援委員会の開催：5 回			

事業の概要

イ 特別支援教育担当者研修の実施（うち 28 千円）

特別支援教育の専門性を高め、指導力を向上させるために、特別支援教育担当者を対象とした研修を実施する。

【活動指標】

特別支援教育担当者研修の実施：3回

④ 特別支援教育相談員の配置（2,797 千円（前年度 2,786 千円））

障害のある幼児児童生徒の教育相談及び教育支援委員会に係る業務を充実させるために、特別支援教育相談員を配置する。

【活動指標】

特別支援教育相談員の配置：1名

⑤ 特別支援教材教具制作の支援（270 千円（前年度 246 千円））

特別支援学級の学習活動の充実を図るために、教材や教具の開発等に向けた取組への支援を実施する。

【活動指標】

特別支援学級への教材教具制作の支援：135 学級

事業の概要			
戦略	1 特別な支援を要する児童生徒への教育推進	予算 374,792 千円	前年度 350,249 千円
事務事業	1-2 小・中学校教育支援者配置事業	予算 364,765 千円	前年度 342,201 千円
内容			
1-2_小・中学校教育支援者の配置			
【拡】① 教育補助員の配置（256,156 千円（前年度 235,140 千円）） 特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や生活の支援を行い、特別支援学級の円滑な運営を図るために、教育補助員を配置する。			
【活動指標】 教育補助員の配置：小学校 25 校 67 人（R 3 年度：23 校 62 人） 中学校 10 校 28 人（R 3 年度：9 校 25 人）			
小学校の特別支援学級数と在籍者数		中学校の特別支援学級数と在籍者数	
	学級数	在籍者数	
R1	73	249	R1
R2	79	290	R2
R3	87	366	R3
R4(想定)	90	400	R4(想定)
			学級数
			在籍者数
			29
			91
			102
			130
【拡】② 学校教育支援員の配置（108,609 千円（前年度 107,061 千円）） 通常の学級に在籍する児童生徒の多様な課題に対応するために、教職員を補助することのできる学校教育支援員を配置する。			
【活動指標】 学校教育支援員の配置：小学校 30 校 30 人（R 3 年度：30 校 30 人） 中学校 10 校 13 人（R 3 年度：10 校 12 人）			
小学校の通常の学級における支援が必要な児童数		中学校の通常の学級における支援が必要な生徒数	
	要望校数	要望人数	
R1	30	206	R1
R2	30	190	R2
R3	31	257	R3
R4(想定)	31	260	R4(想定)
			要望校数
			要望人数
			29
			35
			38
			45

事業の概要				
戦略	2	外国につながる児童生徒への教育推進	予算 7,243 千円	前年度 7,110 千円
事務事業	2-1	外国につながる児童生徒への教育推進事業	予算 7,243 千円	前年度 7,110 千円
内容				
2-1_外国につながる児童生徒への教育推進				
<p>① 日本語指導拠点校の設置 (3,077 千円 (前年度 2,987 千円)) 日本語指導に係る研究を推進するとともに、研究成果を市内に普及するために、日本語指導拠点校を設置する。 【活動指標】 日本語指導拠点校の設置：1 校 (R 3 年度：龍王小学校)</p> <p>② 日本語初期指導教室の設置 (3,745 千円 (前年度 3,701 千円)) 来日して間もない児童生徒に学校生活や日本語に係る指導を行い、学校への早期適応を図るために、日本語初期指導教室を設置する。 【活動指標】 日本語初期指導教室指導員の派遣：3 名</p> <p>③ 通訳者・支援員の派遣 (372 千円 (前年度 372 千円)) 日本語の理解が十分でない児童生徒や保護者に対し、学校生活への適応や教育環境の充実の支援のために、通訳者や支援員を派遣する。 【活動指標】 通訳者の派遣：60 回 支援員の派遣：30 回</p> <p>④ 日本語指導教育研修の実施 (49 千円 (前年度 49 千円)) 外国につながる児童生徒への理解や日本語指導の指導力の向上を図るために、日本語指導学級や該当児童生徒の学級担任を対象に研修を実施する。 【活動指標】 日本語指導教育研修の実施：1 回</p>				

事業の概要			
戦略	3	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	予算 204,834 千円 前年度 198,193 千円
事務事業	3-1	小・中学校就学支援事業	予算 199,536 千円 前年度 195,957 千円
内容			
3-1_小・中学校の就学支援（199,536 千円（前年度 195,957 千円））			
<ul style="list-style-type: none"> ① 経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者への学用品費等の支給 ② 特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者への学用品費等の支給 			

事業の概要			
戦略	3	学校教育における学力保障、福祉関係機関等との連携強化	予算 204,834 千円 前年度 198,193 千円
事務事業	3-2	私立学校等助成事業	予算 5,298 千円 前年度 2,236 千円
内容			
3-2_私立学校等への助成			
<p>① 賀茂高等学校定時制後援会への補助金交付（188 千円（前年度 211 千円））</p> <p>【補助内容】 講演会の開催、部活動全国大会遠征等に要する経費</p> <p>② 近畿大学附属広島高等学校東広島校及び呉武田学園武田高等学校への補助金交付（2,110 千円（前年度 2,025 千円））</p> <p>【補助内容】 教材費、教育研究機器などの購入に要する経費</p> <p>【新】③ 賀茂北高等学校の活性化に係る補助金交付（3,000 千円（前年度 0 千円）） 県央の進学先である賀茂北高等学校の魅力向上への支援として、地域が運営する生徒の自学自習の場への資格取得に係る講師の派遣、通信講座の受講等に要する費用を補助する。</p>			

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
施策の将来の目標像	すべての子どもたちが「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育を受けられ、青少年が将来に夢と希望をもち、主体性と創造性をもった人間として健やかに成長し、活動していくことができる安全・安心な社会環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の児童の割合	11%	9%以下
	全国学力・学習状況調査結果における正答率40%未満の生徒の割合	17%	15%以下

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生涯学習部 青少年育成課	生涯学習部	生涯学習課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域及び関係諸機関との連携体制が整い、青少年の健全な育成が図られる	現状	全国や県に比して良好な傾向ではあるが青少年問題の課題は増加し、憂慮される	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	個々の児童生徒の状況に対応するための校内の仕組づくりが十分とは言えない。	個に応じた生徒指導の充実	高	1
	家庭教育充実に資する保護者への啓発活動推進が十分とは言えない。	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	中	2
	子どもと地域住民とのつながりや、地域で子どもが活動できる場が求められている。	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
		R3	R4	R5		
(7) 不登校児童生徒数	222 (R1) マイナス指標設定	210	205	200	200 (R5)	人
(4) スクールソーシャルワーカーの取組での改善率	83 (R1)	84.0	84.5	85.0	85 (R5)	%
(6) いじめ解消率	75 (R1)	78	79	80.0	80 (R5)	人

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額	決算額	人件費
		一般財源	一般財源	
R3年度		65,394		
		58,145		
R4年度		75,720		
		63,562		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・1・3 生徒指導推進事業	指導課	2.95	48,701	51,579
2-1	10・5・1 青少年健全育成事業	青少年育成課	0.90	3,714	3,781
2-2	10・5・1 青少年健全育成団体支援事業	青少年育成課	0.60	2,409	2,409
3-1	10・5・1 放課後子供教室運営事業	青少年育成課	0.50	9,517	14,338
3-2	10・5・1 地域学校協働活動推進事業	生涯学習課	0.50	1,053	3,613
合計			5.45	65,394	75,720

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	3 高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	③ 地域と連携した青少年健全育成の環境づくり

事業の概要				
戦略	1 個に応じた生徒指導の充実	予算	51,579 千円	前年度 48,701 千円
事務事業	1-1 生徒指導推進事業	予算	51,579 千円	前年度 48,701 千円
内容				
1-1_生徒指導の推進				
【拡】① 個別支援の充実（23,639 千円（前年度 21,402 千円））				
ア 校内特別支援教室の設置（うち 445 千円）				
不登校児童生徒等の社会的自立を促すために、校内特別支援教室（スペシャルサポートルーム（SSR））を設置する。				
【活動指標】				
校内特別支援教室の設置：小学校 4 校（R 3 年度：3 校）				
中学校 4 校（R 3 年度：3 校）				
校内特別支援教室設置校				
	R 2	R 3	R 4（予定）	
小学校	西条小 三ツ城小	西条小 三ツ城小 川上小	西条小 三ツ城小 川上小 高屋西小	
中学校	黒瀬中 中央中	黒瀬中 中央中 西条中	黒瀬中 中央中 西条中 向陽中	
計	4	6	8	
不登校児童生徒数				
	R 1	R 2	R 3（1 月末）	
小学校	69 人	77 人	88 人	
中学校	138 人	135 人	178 人	
イ 心のサポーターの配置（うち 23,194 千円）				
児童生徒、保護者及び教職員の抱える悩みへの相談など教育相談体制の充実を図るために全小中学校に心のサポーターを配置する。				
【活動指標】				
心のサポーターの配置				
SSR 設置校：1 日 6 時間で週 5 日				
SSR 未設置校：小学校 1 日 4 時間で隔週 1 日から毎週 1 日				
中学校 1 日 4 時間で毎週 2 日から 3 日				

事業の概要

【拡】② 教育相談・家庭支援の充実（13,885千円（前年度13,061千円））

ア スクールソーシャルワーカーの派遣（うち10,204千円）

学校・家庭・関係機関等のネットワークを構築し、児童生徒の自立に向けた支援を行うためにスクールソーシャルワーカー（SSW）を派遣する。

【活動指標】

スクールソーシャルワーカーの派遣：2,544時間

臨床心理士の派遣：1日（6時間）×週2日

社会福祉士等の派遣：1日（6時間）×週6日

（R3年度：2,332時間）

SSWの実施状況

	R1	R2	R3（1月末）	R4（予定）
SSWの人数	4人	5人	5人	5人
対象者数（延べ数）	1,824人	2,258人	3,150人	—
連携回数	1,146回	1,592回	2,512回	—
連携時間	1,083時間	1,431時間	1,868時間	—

イ 児童青少年総合相談室の設置（うち3,681千円）

保護者等の多様な教育相談のニーズに対応するために、児童青少年総合相談室を設置し、教育相談員やカウンセラーを派遣する。

【活動指標】

教育相談員の派遣：1日（5.5時間）×週4日

カウンセラーの派遣：1日（3時間）×週2日

③ 校外適応指導教室の設置（10,911千円（前年度11,038千円））

不登校等児童生徒の社会的自立を支援するために、学習指導や体験活動を行う校外適応指導教室（フレンドスペース）を設置する。

【活動指標】

校外適応指導教室の設置：3地域（西条・黒瀬・豊栄）・指導員7人

④ 安全指導者の派遣・配置（1,179千円（前年度1,194千円））

学校の防犯や非行防止に関する取組の充実を図るとともに、児童生徒の通学の安全を高めるために、スクールガードリーダーの派遣や学校安全ボランティアの配置を行う。

【活動指標】

スクールガードリーダーの派遣：48回

学校安全ボランティアの登録：14,000人

事業の概要

⑤ 教職員の生徒指導力向上（697 千円（前年度 753 千円））

学校における生徒指導に係る取組の充実を図るために、生徒指導教育実践指定校を指定するとともに生徒指導主事等を対象とした研修を実施する。

【活動指標】

生徒指導教育研究実践校の指定：1 校

生徒指導主事等研修の実施：1 回

⑥ いじめ防止に向けた取組（1,060 千円（前年度 1,076 千円））

いじめ防止に向けた児童生徒による主体的な活動やいじめの再発防止に係る取組を支援する。

【活動指標】

いじめ防止に向けた児童会・生徒会の取組の支援：20 校

事業の概要				
戦略	2	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 6,190 千円	前年度 6,123 千円
事務事業	2-1	青少年健全育成事業	予算 3,781 千円	前年度 3,714 千円
内容				
2-1_青少年健全育成を支える環境づくり				
① 児童青少年センター活動の充実 (1,228 千円 (前年度 1,170 千円))				
ア 児童厚生員の配置 (うち 1,147 千円)				
保育士資格を持つ児童厚生員が、育児や保護者自身の悩み等の相談に対応する。				
勤務日時：毎週火・木・日曜日 10時30分から17時				
【活動指標】				
・対象 乳幼児の保護者				
・場所 児童青少年センター				
・相談者数 のべ250人				
※実績 (R3.12時点) のべ185人				
イ 児童生徒等の異年齢集団による活動 (うち 81 千円)				
(7) ゆーすふる・チャレンジャー開催 (うち 0 千円)				
児童青少年センターを拠点に活動する、青少年のボランティアグループが、幼稚園や保育園児、小学生など向けの行事などを企画・運営する。				
【活動指標】				
・対象 中学生から24歳以下の若者				
・場所 憩いの森公園ほか				
・参加者数 50人				
※実績 (R3) 47人				
(4) 親子わくわく講座開催 (うち 81 千円)				
親子や保護者同士のふれあいを深めることを目的として、月1回、ものづくりや体験活動に係る講座を行う。				
【活動指標】				
・対象 未就学児とその保護者				
・場所 児童青少年センター				
・回数 12回 96組				
※実績 (R3.12時点) 5回				
35組 (コロナ対応)				



ゆーすふる・チャレンジャーの様子



親子わくわく講座の様子

事業の概要

② 地域の安全・安心の推進 (2,313 千円 (前年度 2,284 千円))

ア 青少年指導員による巡視活動 (うち 2,200 千円)

青少年指導員 (8 人) が駅前や商業施設等を中心に巡回し、青少年への声かけ活動や補導指導などの街頭補導活動を行う。

【活動指標】

- ・対象 市内の青少年
- ・場所 市内各地域
- ・回数 1,100 回

※実績 (R3.12 時点) 873 回

イ 青少年問題協議会の開催 (うち 113 千円)

地方青少年問題協議会法に基づく東広島市青少年問題協議会を設置し、青少年にかかる状況や市の事業等についての意見交換等を行う会議を年 1 回程度開催する。(R4:5 月頃予定)

【活動指標】

- ・対象 会長 (市長) ほか委員 16 人
- ・場所 市役所
- ・回数 1 回

※実績 (R3) 0 回 (コロナ対応)

※ 令和 4 年度より、生徒指導に係る事業は青少年健全育成事業から分離して、生徒指導推進事業として取り組む。

事業の概要				
戦略	2	安全・安心に過ごせる児童生徒の居場所づくり	予算 6,190 千円	前年度 6,123 千円
事務事業	2-2	青少年健全育成団体支援事業	予算 2,409 千円	前年度 2,409 千円
内容				
2-2_青少年健全育成団体の支援				
<p>① 青少年健全育成団体への財政支援（2,409千円（前年度2,409千円））</p> <p>青少年が豊かな創造力と自主性を持った社会の一員となるよう、青少年健全育成の活動団体へ財政支援を行う。</p> <p>ア 青少年育成東広島市民会議（うち1,210千円）</p> <p>国・県・市の施策に呼応して次代を担う青少年の非行防止や健全育成を目的として、研修会や講演会、巡回指導、各種啓発活動を行う団体。</p>				
				
			<p>あいさつ・声かけ運動</p>	
<p>イ “社会を明るくする運動” 東広島推進委員会（うち513千円）</p> <p>青少年健全育成活動及び更生保護活動によって犯罪の未然防止や罪を犯した人たちの更生に理解を深めることを目的として、各種啓発活動を実施する団体。</p>				
				
			<p>作文・標語コンテスト表彰式</p>	
<p>ウ 各種団体助成（うち668千円）</p> <p>女性連合会及びPTA連合会に対して助成を行う。</p>				

事業の概要			
戦略	3 地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	予算 17,951 千円	前年度 10,570 千円
事務事業	3-1 放課後子供教室運営事業	予算 14,338 千円	前年度 9,517 千円

内容

3-1_児童の放課後活動の充実

① 放課後子供教室の実施 (14,338 千円 (前年度 9,517 千円))

地域と学校の連携・協働のもと、幅広い地域住民が参画し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域の交流を促進する。

【活動指標】

- ・対象 地域・学校
- ・場所 市内の各小学校区
- ・教室数 8 教室増 一体型の実施 5 教室
- ※実績 (R3) 教室数 0 教室増 一体型の実施 0 教室 (コロナ対応)



屋内での工作教室



屋外でのスポーツ活動

放課後子供教室一覧

	教室名	小学校区
1	川上やっチャオ☆スクール	川上小学校区
2	西志和わくわく教室	西志和小学校区
3	吉川放課後子供教室	吉川小学校区
4	高美が丘つくしんぼクラブ	高美が丘小学校区
5	木谷放課後子供教室	木谷小学校区
6	三ツ城放課後子供教室	三ツ城小学校区
7	豊栄放課後子供教室	豊栄小学校区
8	河内放課後子供教室	河内小学校区
9	入野放課後子供教室	入野小学校区
10	板城ハッピー☆スクール	板城小学校区
11	東志和やまびこクラブ	東志和小学校区
12	高屋東放課後子供教室	高屋東小学校区
13	八本松チャレンジ教室	八本松小学校区
14	郷田 GOGO クラブ	郷田小学校区
15	平岩放課後子供教室	平岩小学校区
16	東西条放課後子供教室	東西条小学校区
17	御藺宇放課後子供教室【スマイル】	御藺宇小学校区
18	造賀放課後子供教室	造賀小学校区
19	小谷元気っ子教室	小谷小学校区
20	高屋西放課後子供教室	高屋西小学校区
21	三永小学校放課後ワクワク子供教室	三永小学校区

R4 開設予定

小学校区
龍王小学校区
板城西小学校区
上黒瀬小学校区
乃美尾小学校区
福富小学校区
三津小学校区
風早小学校区
寺西小学校区

※ 令和4年度より、地域学校協働活動推進事業から分離して、放課後子供教室運営事業として取り組む。

事業の概要				
戦略	3	地域学校協働活動の推進と児童の放課後活動の充実	予算 17,951 千円	前年度 10,570 千円
事務事業	3-2	地域学校協働活動推進事業	予算 3,613 千円	前年度 1,053 千円
内容				
3-2_地域学校協働活動の推進				
① 地域学校協働活動推進員の配置 (3,613 千円 (前年度 1,053 千円))				
地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員をコミュニティ・スクール導入校に配置し、地域学校協働活動の企画・連絡調整を行う。				
【活動指標】				
・推進員数 11 人増 合計 22 人				
※実績 (R3) 3 人増 合計 11 人				
【地域学校協働活動推進員の配置校】				
年度	学校区	配置数		
H30	風早小	1		
R02	高美が丘小中 福富中 八本松小 小谷小 御菌宇小 上黒瀬小 龍王小	7		
R03	志和中 河内中 寺西小	3		
R04 (予定)	入野小 三永小 高屋東小 吉川小 郷田小 板城小 板城西小 乃美尾小 木谷小 三津小 三ツ城小	11		
※令和6年度までに、全ての学校区に地域学校協働活動推進員を設置予定。				
【主な地域学校協働活動の内容】				
あいさつ・声かけ・見守り活動、環境美化活動、自生地 of 保全活動、多様な体験学習 (収穫体験・郷土学習・環境教室・防災教室・水辺教室など)				
※ 令和4年度より、地域学校協働活動推進事業から放課後子供教室運営事業が分離して取り組む。				

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	—	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 理科系教育分野等の教育内容の充実	主管部局・所属	学校教育部	指導課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	世界基準で活躍できる人材育成に根差した教育が学校内外で行われ、児童生徒の理科系教育への興味関心が高まる	現状	理科系教育への関心・意欲が高いとは言えず、理科・算数・数学の高水準学力を維持することが懸念される。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
理科教育の魅力を強く感じられるような授業が十分に行えているとは言えない	子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 「全国学力・学習状況調査」の理科・算数・数学において、全国平均を上回る学校の割合	85 (R 1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	86.0	86.5	87.0	87.0 (R 5)	%
(4) 講座参加者の学習満足度	95 (R 1)		100.0	100.0	100.0	100.0 (R 5)	%
(6) 理科アシスタント配置校における理科を好きな児童の割合	92 (R 1)		94.0	95.0	95.0	95.0 (R 5)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度			11,204			
			10,841			
R 4 年度			6,159			
			5,789			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・1・3 科学の芽育成事業	指導課	1.00	11,204	6,159
合計			1.00	11,204	6,159

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額	分析		

8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率	分析		

9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		

10 総合評価			
総合評価	<総評>		

11 今後の課題及び取組方針	
課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	① 理科系教育分野等の教育内容の充実

事業の概要			
戦略	1 子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成	予算 6,159 千円	前年度 11,204 千円
事務事業	1-1 科学の芽育成事業	予算 6,159 千円	前年度 11,204 千円

内容

1-1_児童生徒の科学の芽育成

① 科学の芽育成講座の実施（5,046 千円（前年度 10,114 千円））

児童生徒の科学に対する興味・関心を高めるために、大学や企業が有する専門的知識や技術を活用し、出前講座を実施する。

【活動指標】

科学の芽育成講座の実施：70 回

科学の芽育成講座の実績

	R 1	R 2	R 3 (9月現在)	R 4 (予定)
小学校	21 校 48 学級	13 校 26 学級	15 校 38 学級	22 校 50 学級
中学校	2 校 6 学級	なし	1 校 1 学級	3 校 20 学級
計	23 校 54 学級	13 校 26 学級	16 校 39 学級	25 校 70 学級

※ 令和4年度から「めざせ！未来のノーベル賞科学の芽成長プロジェクト」を科学の芽育成講座に統合

② 理科観察実験アシスタントの配置（1,113 千円（前年度 1,090 千円））

理科の授業における観察や実験を充実させるために理科の専門性を有する大学院生等を理科観察実験アシスタントとして小学校に配置する。

【活動指標】

理科観察実験アシスタントの配置：8 人

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	4 新たな価値を創造する人材の育成
施策の将来の目標像	多くの子どもたちが最先端技術に関心を持ち、行政と地域の大学や試験研究機関、企業等が連携し、質の高い学びの機会が提供されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められている」と回答した児童・生徒の割合	—	80%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属	生涯学習部 文化課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市内大学・試験研究機関等との連携により、子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実が図られている	現状	子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の提供が十分ではない	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	児童が参加しやすい講座を提供する必要がある。	創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実	高	1
	地域資源である大学等と連携し、創造性豊かな人材を育成する必要がある	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 出前美術館・博物館、芸術体験事業の満足度の割合	85 (R 1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	88	89	90	91 (R 6)	%
(4) 生涯学習パスポート(小・中学生用)の奨励者の割合	15.4 (H30)		17.0	17.5	18.0	18.0 (R 5)	%
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R 年	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度		4,241				
		4,241				
R 4 年度		4,506				
		4,506				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・5・2 文化芸術体験事業	文化課	0.70	4,105	4,026
2-1	10・5・2 豊かな学び創造事業	生涯学習課	0.20	136	480
合計			0.90	4,241	4,506

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	<h1>決算時記載</h1>	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	4 新たな価値を創造する人材の育成	② 子どもの興味・関心及び創造性を伸ばす教育の充実

事業の概要				
戦略	1 創造性豊かな子どもの育成につながる学びの充実	予算	4,026 千円	前年度 4,105 千円
事務事業	1-1 文化芸術体験事業	予算	4,026 千円	前年度 4,105 千円

内容

1-1_文化芸術体験の振興

① 文化芸術体験の振興 (4,026 千円 (前年度 4,105 千円))

ア 出前美術館 (うち 50 千円)

美術館所蔵作品の図版等を活用した鑑賞教材を用いて、子どもたちが楽しんで作品を鑑賞する機会を提供する。

【活動指標】

対象 市内小中学校：3 校

※実績 (R3. 12 月時点) 3 校



アートカードを活用した授業

イ 出前博物館 (うち 33 千円)

出土文化財や民具等を学校に持参し、見て触ってその質感を体験することで歴史や文化・文化財への興味を醸成する。

【活動指標】

対象 市内小中学校：5 校

※実績 (R3) 4 校 (コロナ対応)



本物の土器に触れる体験

ウ はじめてビジュツカン (うち 3,943 千円)

市内の小学生を美術館に招待し、美術作品に触れ、子どもたちの感性を養う機会を設ける。

【活動指標】

対象 小学4年生：32 校

※実績 (R3) 17 校 (コロナ対応)



美術館での作品鑑賞体験

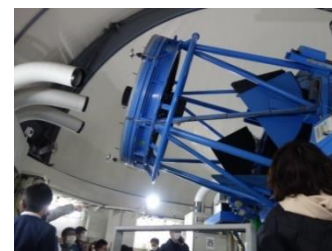
事業の概要					
戦略	2	子どもの興味・関心と創造性を伸ばす講座の充実	予算	480 千円	前年度 136 千円
事務事業	2-1	豊かな学び創造事業	予算	480 千円	前年度 136 千円
内容					
2-1_豊かな学びの創造					
市内の大学や試験研究機関等と連携・協働し、その知見を活用して、子どもたちの豊かな学びにつながる講座を提供する。					
① 宇宙科学講座「ひがしひろしまスペースクラブ」の実施（うち 267 千円）					
宇宙や天体について、座学やグループワーク、天体観測を通じて学び、科学的な興味や関心を高める場を提供する。					
【活動指標】					
・対象 小学生（30 人／各回×2 クラス）					
・場所 広島大学、武田中学・高等学校、東広島天文台ほか					
・回数 16 回（2 クラス 各 8 回連続）					
※実績（R3. 12 時点） 回数：4 回（連続講座）、参加者：30 人（コロナ対応）					
② 宇宙科学講座「ひがしひろしまスペースクラブ～特別編～」(うち 15 千円)					
天体や宇宙の様々な現象（例：部分月食等）について、学び、実際に観測する機会を提供する。					
【活動指標】					
・対象 小学生（30 人）					
・場所 広島大学ほか					
・回数 1 回					
※実績（R3）（部分月食の観測：R3. 11. 19、参加者小学生と保護者 30 組）					
③ 東広島天文台観望会の開催					
広島大学と共催し、東広島天文台で特別観望会を開催する。					
【活動指標】					
・対象 小学生以上（560 人／年）					
・場所 東広島天文台					
・回数 4 回程度					
※実績（R3. 12 時点） 回数：0 回（コロナ対応）					



ひがしひろしまスペースクラブの様子



ひがしひろしまスペースクラブ～特別編～の様子



東広島天文台での講座の様子
(ひがしひろしまスペースクラブ)

事業の概要

【新】④ 情報科学講座「ひがしひろしま情報みらい塾」(うち 198 千円)

市内大学や研究機関の知見を活用し、プログラミングなどの技術を通して、子どもたちの創造力や論理的思考力を養い、情報科学に興味や関心を高める場を提供する。

【活動指標】

- ・対象 小学生 (20 人/各回)
- ・場所 東広島芸術文化ホールくららほか
- ・回数 8 回 (連続講座)



アイデアを形にする
プログラミングの様子

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	5 知的資源と国際性を活かした人づくり
施策の将来の目標像	大学立地などの地域の特性を活かし、その知見を活かした教育が提供され、国際感覚を備え、高度な専門性を身に付けた人材が数多く育っています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童の割合	73.3%	80%以上
	「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う生徒の割合	66.8%	70%以上

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成	主管部局・所属	学校教育部 指導課
関係部局・所属	生活環境部 市民生活課	生涯学習部	生涯学習課
	生涯学習部	文化課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学・企業等との連携により市民の学びが深まるとともに、外国に繋がる人との交流が広がり国際感覚が醸成される	現状	研究資源や高い専門性を持つ人材が「学び」に十分に活かしておらず、国際感覚の醸成も十分高まっているとは言えない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
本市が有する教育資源の効果的な活用及び連携充実に資する関係部局の協働体制が十分とは言えない	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実		高	1
関係機関と連携した国際交流機会を計画的かつ効率的に創出する必要がある	国際感覚の醸成		中	2
大学や試験研究機関と連携した講座の充実を図る必要がある	大学や試験研究機関等と連携した豊かな学びにつながる講座の充実		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 各種主催講座等の受講により、コミュニティ活動に取り組んで行うこととする人の割合	80 (R 1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	83	84	85	85 (R 5)	%
(4) 「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい」と思う児童・生徒の割合	80 (R 1)		82	83	84	84 (R 5)	%
(7) 埋蔵文化財へ興味・関心を持ったと回答した小学生・保護者の割合	90 (R 1)		92	93	94	94 (R 5)	%

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度			2,904			
			2,904			
R 4 年度			2,787			
			2,787			

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・1・3 未来創造キャリア形成事業	指導課	0.25	425	413
1-2	10・5・5 歴史体験事業	文化課	0.50	129	152
2-1	10・1・3 グローバルマインド育成事業	指導課	0.30	1,418	1,224
2-2	2・1・7 国際理解推進事業	市民生活課	0.10	35	35
3-1	10・5・2 学びのキャンパス推進事業	生涯学習課	0.80	897	963
合計			1.95	2,904	2,787

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート



まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	5 知的資源と国際性を活かした人づくり	① 大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成

事業の概要					
戦略	1	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学びの充実	予算	565 千円	前年度 554 千円
事務事業	1-1	未来創造キャリア形成事業	予算	413 千円	前年度 425 千円
内容					
1-1_未来創造及びキャリアの形成					
① 中学生職場体験学習の実施（413 千円（前年度 425 千円）） 働くことの意義を理解し、主体的に進路を決定しようとする意欲をもたせるために、中学校 2 年生を対象に職場体験学習を実施する。					
【活動指標】					
中学生職場体験学習の実施：14 校					

事業の概要					
戦略	1	大学等研究機関や各種教育機関・企業と連携した教員研修及び学校の学び充実	予算	565 千円	前年度 554 千円
事務事業	1-2	歴史体験事業	予算	152 千円	前年度 129 千円
内容					
1-2_歴史の体験					
① 「親子の体験歴史村」講座の実施（うち 152 千円） 勾玉作りや土器作り、火おこし等、親子で古代の人々の生活体験をすることで、埋蔵文化財への興味と関心を高める。					
【活動指標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・対象 市内小学 4～6 年生とその保護者（15 組 30 人） ・場所 広島大学総合博物館 ・回数 2 回 					
※実績（R3）13 組 27 人×2 回					
					
火おこし体験の様子			出来上がった「勾玉」		

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,259千円	前年度	1,453千円
事務事業	2-1	グローバルマインド育成事業	予算	1,224千円	前年度	1,418千円
内容						
2-1_グローバルマインドの育成						
① 外国語活動協力者の派遣（1,224千円（前年度1,418千円））						
児童のグローバルマインドの涵養を図るために、小学校外国語活動の授業へ外国人の留学生等を派遣する。						
【活動指標】						
外国語活動協力者の派遣時間：800時間						

事業の概要						
戦略	2	国際感覚の醸成	予算	1,259千円	前年度	1,453千円
事務事業	2-2	国際理解推進事業	予算	35千円	前年度	35千円
内容						
2-2_国際理解の推進						
① JICA 研修事業研修員と市民等との交流の促進（35千円（前年度35千円））						
ア 国際協力研修事業への協力による国際理解の促進						
(ア) JICA「排水処理技術コース」への協力による国際理解の促進						
(イ) JICA 中国が実施する各種研修コースへの協力 5コース程度/年						

事業の概要					
戦略	3	大学・企業等との連携による学びの充実と国際感覚の醸成	予算	963 千円	前年度 897 千円
事務事業	3-1	学びのキャンパス推進事業	予算	963 千円	前年度 897 千円
内容					
<p>3-1_学びのキャンパスの推進</p> <p>市内の大学や試験研究機関等と地域・市民の交流や連携を推進するとともに、市民の豊かな学びにつながる講座を提供する。</p> <p>① 「東広島学」の開催（うち 70 千円）</p> <p>近畿大学工学部と連携し、市内の各分野で活躍する団体等の講義等を通じて、東広島を知り、東広島に愛着を持ってもらう講座を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市民、学生 ・場所 近畿大学工学部ほか ・回数 15 回（連続講座） <p>※実績(R3) 回数：15 回、参加者数：延べ 757 人</p>  <p>「龍王山でのグラウンドワーク」 ～山を守る・水を守る・命を育む～</p> <p>② 「ボランティア発見講座」の開催（うち 135 千円）</p> <p>広島国際大学と連携し、市内で活動するボランティア団体等の講座を通じて、自らのボランティア活動への関心を高める講座を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 市民、学生 ・場所 広島国際大学ほか ・回数 8 回（連続講座） <p>※実績(R3) 回数：8 回、参加者数：延べ 166 人</p>  <p>絵本の読み聞かせボランティア</p>					

事業の概要

③ 「広大マスターズ市民講座」の開催（うち184千円）

広島大学マスターズと連携し、その知的資源を活用して市民の高度で多様なニーズに応える生涯学習の機会を提供する。

【活動指標】

- ・対象 市民
- ・場所 東広島芸術文化ホールくららほか
- ・回数 20回（5講座 各講座4回連続）

※実績（R3.12月時点）

回数：11回、参加者数：延べ192人（コロナ対応）



小学生のための実践的な将棋講座

④ 「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催（うち574千円）

市内大学の教授等が講師となり、専門的な内容を学ぶことができる講座を各地域で開催する。

【活動指標】

- ・対象 市民
- ・場所 生涯学習センター、地域センター等
- ・回数 18回

※実績（R3.12月時点） 回数：9回、参加者数：延べ233人



科学的根拠に基づくウォーキング講座

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備	主管部局・所属	生涯学習部 生涯学習課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民自ら生涯を通じて学び、活躍できる環境が整っている	現状	市民が主体的に学び、その成果を活かすことのできる学習環境が整備されていない	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
全ての市民にとって魅力ある図書館を整える必要がある	社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり		中	1
学びの循環を促す必要がある	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりの推進		中	2
学びを支える環境づくりが必要	生涯学習施設の適正な管理運営		低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数	664 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	680	690	700	700 (R5)	団体
(4) レファレンス件数	7,958 (H30)		8,342	8,470	8,600	8,600 (R5)	件
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R 3 年度	694,640				
		606,536				
	R 4 年度	692,762				
		575,781				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・5・4 図書館管理運営事業	生涯学習課	2.00	391,388	355,971
2-1	10・5・2 生涯学習活動推進事業	生涯学習課	9.00	97,140	92,948
3-1	10・5・2 生涯学習施設管理運営事業	生涯学習課	6.84	206,112	243,843
合計			17.84	694,640	692,762

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）			
差額		分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）			
平均達成率		分析	
9 取組の分析			
区分	分析ポイント	概要	
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載	
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。		
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。		
10 総合評価			
総合評価		<総評>	
11 今後の課題及び取組方針			
課題		課題を踏まえた今後の取組方針	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	① 生涯を通じて地域で学び、活躍できる環境の整備

事業の概要					
戦略	1 社会情勢や利用ニーズを踏まえた図書館の環境づくり	予算	355,971 千円	前年度	391,388 千円
事務事業	1-1 図書館管理運営事業	予算	355,971 千円	前年度	391,388 千円

内容

1-1_図書館の管理運営

貸出返却やレファレンス（調査相談）のサービスに加え、地域の情報拠点として市民の課題解決に必要な幅広い資料を収集・整理し、ICTを活用したサービスを提供するとともに、市民と市民、市民と情報など様々なつながりを深める場としての機能の充実を図る。

① 図書館の指定管理者による管理運営（うち 295,920 千円）

【対象】市立図書館全7館（中央図書館、サンスクエア児童青少年図書館、黒瀬図書館、福富図書館、豊栄図書館、河内こども図書館、安芸津図書館）

② 施設の改修等（うち 23,000 千円）

ア 中央図書館LED照明設備改修工事

③ 特色ある図書館づくりとDX推進

【新】ア 図書館の特色化をふまえた環境整備（うち 11,803 千円）

(7) (仮) 志和アグリ図書館の設置

園芸センター内に農業関係の図書資料などを配本し、出張図書館による図書館サービスポイントを整備する。



出張図書館開設予定の園芸センターロビー

事業の概要

(イ) (仮) 西高屋情報ラウンジの設計

西高屋駅南北自由通路等整備の一環として、待合室機能と図書館機能を有する施設の内装・設備機器の設計を行う。



【新】イ 電子図書館の利用促進（うち6,446千円）

図書館基幹システムと電子図書館システムを連携させ、蔵書検索、利用者登録、予約連絡通知などを一元化し、サービス向上と事務効率向上を図る。

【活動指標】

- ・書籍約73万冊と電子書籍約2千冊の書誌データの統合



電子図書館トップページ

事業の概要				
戦略	2	豊かな学びへの支援と学びを通じたつながりづくりの推進	予算 92,948 千円	前年度 97,140 千円
事務事業	2-1	生涯学習活動推進事業	予算 92,948 千円	前年度 97,140 千円
内容				
2-1_生涯学習活動の推進				
多様で変化する学習ニーズや少子高齢化の進展など、現代的・社会的課題に対応するための学習機会を提供する。				
① 人権に関する学習機会の充実（うち 499 千円）				
ア 人権講座の開催（うち 429 千円）				
人権尊重の理念が日常生活に根付くように多様な学習機会の充実を図る。				
【活動指標】				
・対象 市民				
・場所 生涯学習センター及び地域センター等				
・内容 人権尊重の意識の高揚を醸成する講座を開催				
・回数 42 回				
※実績(R3.12時点)				
回数：11 回、参加者数：延べ 314 人（コロナ対応）				
イ 人権教育研修会の開催等（うち 70 千円）				
人権教育研修会の開催や県主催の人権教育指導者研修会への参加を促し、指導者の養成及びその資質の向上を図る。				
【活動指標】				
・対象 地域センター職員等				
・場所 市役所、県庁等				
・内容 研修会の提供等、人権講座の学習プログラムの企画・立案				
・回数 4 回				
※実績(R3.12時点)				
回数：1 回、参加者数：延べ 17 人（コロナ対応）				
② 家庭教育支援講座の開催（うち 1,048 千円）				
ア 「親の力」をまなびあう学習プログラム等の開催（うち 292 千円）				
保護者をはじめ、あらゆる人がそれぞれの立場で「子育て力」を身につける。				
【活動指標】				
・対象 市民				
・場所 市内公共施設等				
・内容 「自ら気づき学ぶことができる力」を高め、「話のきっかけ」「対話のツール」として開発された参加体験型学習プログラムを開催				
・回数 40 回				
※実績(R3.12時点) 回数：13 回参加者数：延べ 95 名（コロナ対応）				



地域子育て支援センターでの実施

事業の概要

イ ブックデビュー推進講座等の開催（うち 756 千円）

妊娠期からのことばがけの大切さを伝え、あかちゃんの「ことば」の獲得(注)を支援する。

【活動指標】

- ・対象 保護者及び妊産婦・配偶者、ブックデビューを支援したい人
- ・場所 地域すくすくサポート等
- ・内容 絵本などを活用して、図書館や様々な子育て支援事業と連携しながら講座を開催
- ・回数 88 回

※実績（R3.12時点）

回数：21 回

参加者数：延べ 93 組（コロナ対応）

(注)「ことば」の獲得

言語の早期教育を指すものではなく、基本的信頼関係を育むもので、人の学びの基礎となる力を育てること



ブックデビュー推進講座

③ 生涯学習講座等の開催（うち 21,900 千円）

ア 東広島熟年マイスター教育講座の開催（うち 918 千円）

人生 100 年時代を見据え、高齢者を対象に様々な社会問題を体系的に学ぶ講座。

【活動指標】

- ・対象 市民（65 歳以上）
- ・場所 東広島芸術文化ホールくららほか
- ・内容 認知症予防、特殊詐欺対策等の現代的課題や健康・スポーツ、地域共生などテーマごとに講座を開催
- ・回数 30 回（3 コース 各コース 10 回連続）

※実績（R3.12時点）

回数：18 回（3 コース）、参加者数：延べ 347 人（コロナ対応）



開講式記念講演



地域・共生専攻コース「避難所生活を考える」

事業の概要

イ 主催講座の開催（うち 20,850 千円）

生涯学習（支援）センター及び地域センター等が地域の課題に応じた講座等を開催する。

【活動指標】

- ・対象 市民
- ・場所 生涯学習センター及び地域センター等
- ・内容 地域で抱える課題を解決するための学習機会として講座を開催
- ・回数 4,500 回

※実績(R3.12時点)

回数：1,753 回、参加者数：延べ 19,544 人（コロナ対応）



川上地域センター主催講座 ウォーキング講座

ウ 出前講座の実施（うち 132 千円）

市民団体の求めに応じて、市または協力機関（公的機関・団体）の職員等が講師となり地域へ出向いて講座を実施する。

【活動指標】

- ・対象 市内に在住、在勤、在学している 10 人以上の団体
- ・場所 市内公共施設ほか
- ・内容 市や協力機関（公的機関、団体）より提供する学習メニューから関心のある内容を申し込む
- ・回数 250 回

※実績（R3.12時点）

回数：196 回、参加者数：延べ 5,416 人（コロナ対応）

④ 生涯学習推進体制の充実と資質の向上（うち 45,051 千円）

ア 生涯学習推進員等の配置（うち 43,916 千円）

地域の学びを支援する体制を構築する。

生涯学習推進員（14 人）、社会教育指導員（2 人）、生涯学習相談員（1 人）等の配置

事業の概要

イ 社会教育関係等研修会の開催等（うち 1,135 千円）

講座の企画等に必要な知識・技能等に関する実践的な研修の開催や県主催の研修会への参加を促し、専門性の向上と関係職員との連携を図る。

【活動指標】

- ・対象 生涯学習センター及び地域センター職員等
- ・場所 市役所、県立生涯学習センター等
- ・内容 職務の専門性を発揮できる資質・技能の向上（人材育成）とともに、関係職員間のネットワークを構築
- ・回数 14回

※実績(R3.12時点)

回数：13回、参加者数：延べ224人

⑤ 学習成果を発表する機会の充実と主体的な学びの促進（うち 9,480 千円）

ア 生涯学習フェスティバルの開催（うち 6,775 千円）

生涯学習活動の成果・発表や市民相互の交流の場を全市的な規模で提供することで、主体的に学習する意欲を高め、学習活動への参加を促進する。

※実績(R3) 開催中止（コロナ対応）



はじめてのプログラミング教室



わくわくステージ（団体の活動発表）

イ 講座サークルガイドブックの発行（うち 770 千円）

講座、イベントなど様々な生涯学習情報を集め、冊子やホームページ等で紹介し、広く市民へ提供する。（年1回発行）

ウ 生涯学習パスポートの活用（うち 1,654 千円）

(ア) 【大人版】生涯学習パスポート

学習者個人が学習目標を立て学習記録をつけることで、学んだ成果を実社会で活かす。

※実績(R3.12時点) 奨励賞：108人

(イ) 【子ども版】まなぶちゃんノート（小学校）、ジュニアパスポート（中学校）

学校外の学習活動、ボランティア、地域活動等を記録することで、児童・生徒の学校外での様々な体験活動を促進し、その経験を学校内での学びに活かす。

※実績(R3.12時点) 奨励賞：1,776人



まなぶちゃんノート

事業の概要

エ ボランティア活動の推進（うち 208 千円）

本市のボランティア活動の推進とともに、様々なボランティア活動への理解とネットワークの強化を図り、市民参画によるまちづくりへの発展等を目指す。（年 1 回）

※実績(R3) 回数：1 回（R4.3 開催予定）



市民と学生とのワークショップ

オ 市民企画講座の実施（うち 73 千円）

市民の学習意欲の向上及び地域への普及が期待される講座を企画募集し、企画者が主体となって実施できるよう講座の運営支援を行う。

※実績（R3.12 時点） 回数：3 回、参加者数：延べ 51 人



はなまる健康講座



外国人市民のための防災教室

⑥ 社会教育関係機関等への負担・補助（うち 1,245 千円）

ア 社会教育関係機関への負担金（うち 245 千円）

広島県公民館連合会等と連携し、研修会等の必要経費を負担する。

※実績(R3) 事業費：245 千円

イ ボランティア活動への支援（うち 1,000 千円）

新型コロナウイルス感染症の感染防止に資するボランティア活動へ補助金を交付する。

※実績（R3.12 時点） 交付決定数：10 団体、交付決定額：788 千円

事業の概要

- 【新】⑦ 市全体を「学びのキャンパス」の推進に向けた基礎調査と既存事業の強化
(うち 13,021 千円)
- ア 「学びのキャンパス推進」に向けた基礎調査の実施 (うち 11,990 千円)
市全体が学びのキャンパスとなり、「学び」が「実践」につながる好循環を生むための行動計画策定に向けた調査を行う。
- (ア) 学びを支える環境づくり
既存施設の有効活用を進め、地域の特性を活かした施設利用の特徴化や特定分野の聖地化を実現し、効果的な利用を図る。
- (イ) 学びを通じたつながりの推進
地域に学びが広がることで、学びがコミュニティ活動や地域共生・地域づくりなどの実践に繋がる好循環を育む。
- (ウ) 豊かな学びの支援
学びの現状を把握し、弱点分野を探り戦略的分野に注力する。
- イ 学びのキャンパス認定制度の調査及び試行 (うち 531 千円)
一定の講習認定を受けた民間(市民)主催講座に、市主催同等講座の認証を与えるための調査及び講習会等を実施する。
- ウ 黒瀬生涯学習センター文化活動振興事業の実施 (うち 500 千円)
黒瀬生涯学習センターの機能特徴化に向け、施設全体を有効活用しながら地域の特徴に合う文化発表及び芸術鑑賞に関する主催事業を検討し、試行する。

事業の概要

戦略	3	生涯学習施設の適性な管理運営	予算	243,843 千円	前年度	206,112 千円
事務事業	3-1	生涯学習施設管理運営事業	予算	243,843 千円	前年度	206,112 千円

内容

3-1_生涯学習施設の管理運営

市民文化センター(指定管理)、黒瀬生涯学習センター、豊栄生涯学習センター、安芸津生涯学習センター、創作村、視聴覚ライブラリー、天文台広場の管理運営を行う。

- ① 施設の改修等工事 (うち 89,400 千円)
- ア 市民文化センター空調設備更新工事
イ 志和生涯学習センター解体工事
- ② 舞台照明設備の更新 (うち 2,745 千円)
- ア 黒瀬生涯学習センター舞台照明設備更新
賃借料 2,745 千円 (2 か月分 : R5.2~)
賃借料合計 120 か月 164,657 千円



黒瀬生涯学習センターせせらぎホール

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 芸術文化活動の活性化と歴史・文化の伝承	主管部局・所属	生涯学習部 文化課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化	現状	芸術文化関連施設及び文化財関連イベント等の利用者が低迷している。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
文化芸術の魅力に触れる機会の提供を増やす必要がある。	→	芸術文化活動の活性化と創造	中	1
文化財に対する保護意識の高揚と公開の環境を整える必要がある。		文化財の保護と活用	中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 市民から要請があり講師派遣等を行った回数	17 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	20	21	22	23 (R6)	回
(1) 芸術文化ホールからの若者の利用率	22 (R1)		26.2	28.3	30.4	32.5 (R6)	%
(7) 美術館満足度	72 (R2)		74	76	78	80 (R6)	%

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 3 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R 3 年度	630,376				
	R 4 年度	571,412				
	R 3 年度	595,435				
	R 4 年度	527,604				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

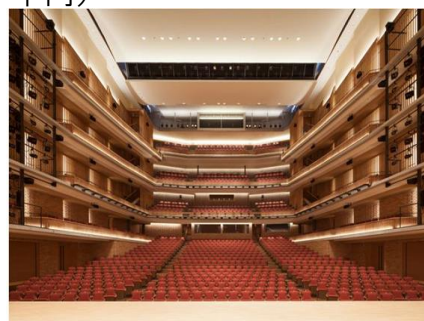
No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・5・1 芸術文化振興事業	文化課	2.10	243,427	274,335
1-2	10・5・3 美術館管理運営事業	文化課	3.70	249,680	192,064
2-1	10・5・5 文化財保存活用事業	文化課	3.38	43,144	33,787
2-2	10・5・5 文化財施設等整備事業	文化課	1.65	68,346	54,119
2-3	10・5・5 東広島市史編さん事業	文化課	6.50	3,120	17,228
2-4	10・5・5 埋蔵文化財調査事業	文化課	11.00	9,386	9,528
2-5	10・5・5 出土文化財管理活用事業	文化課	2.60	13,273	14,374
合計			30.93	630,376	595,435

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」 となる環境づくり	② 芸術文化活動の活性化と 歴史・文化の伝承

事業の概要				
戦略	1 芸術文化活動の活性化と創造	予算	466,399 千円	前年度 493,107 千円
事務事業	1-1 芸術文化振興事業	予算	274,335 千円	前年度 243,427 千円
内容				
1-1_芸術文化の振興				
① 芸術文化の振興 (274,335 千円 (前年度 243,427 千円))				
ア 芸術文化ホールの管理運営 (267,206 千円 (前年度 243,427 千円)) 芸術文化活動の中核施設として、東広島芸術文化ホールくらの管理運営を行う。				
(ア) 指定管理による管理運営 (うち 221,570 千円) 指定管理により、東広島芸術文化ホールくらの維持管理運営を行う。				
(イ) 施設管理運営等 (うち 45,636 千円) 東広島芸術文化ホールくらの施設の維持管理や事業運営等を行う。				
a 維持管理 くらの舞台・音響・照明の機器の長寿命化計画に基づく修繕やコロナ感染防止対策を行う。				
【拡】 b 芸術文化ホール自主事業等 (うち 17,440 千円) 自主事業等の拡充支援を行うことで、コロナ禍で低迷していた芸術文化活動の活性化やくらへの来館者の回復を図る。				
【活動指標】 フルオーケストラの実施回数 2回 ※実績(R3) 1回				
イ 地域芸術の育成 (7,129 千円 (前年度 7,033 千円)) 地域の自主的な文化芸術活動を後援し、地域文化の創造を支援する。				
(ア) 芸術文化活動の支援 (うち 3,320 千円) 市民が主体的に行う文化事業の後援を行うとともに、東広島市文化連盟活動団体に助成を行う。				
【活動指標】 後援回数 100 件 ※実績(R3.12月時点)34 件 (コロナ対応)				
(イ) 芸術文化活動の推進 (うち 3,809 千円) けんみん文化祭を開催や、芸術文化活動の推進等に関するものを行う。				



くらら大ホール



けんみん文化祭地区フェスティバル

事業の概要

【活動指標】

けんみん文化祭の開催(分野別・地区) 各1回

※実績(R3)

R3.11.21 分野別フェスティバル開催

R3.12.5 地区フェスティバル開催

事業の概要				
戦略	1	芸術文化活動の活性化と創造	予算 466,399 千円	前年度 493,107 千円
事務事業	1-2	美術館管理運営事業	予算 192,064 千円	前年度 249,680 千円
内容				
1-2_美術館の管理運営				
① 美術館の管理運営 (192,064 千円 (前年度 249,680 千円))				
ア 特別企画展の開催 (56,862 千円 (前年度 69,937 千円))				
(ア) グランマ・モーゼス展 (うち 30,000 千円)				
アメリカの国民的画家グランマ・モーゼスの生誕 160 年を記念して開催する。				
会期：令和 4 年 4 月 12 日～5 月 22 日 (予定)				
アンナ・メアリー・ロバートソン・“グランマ”・モーゼス 《アップル・バター作り》 1947年 © 2020, Grandma Moses Properties Co.,NY				
グランマ・モーゼス展				
(イ) 印象派からエコール・ド・パリまで(仮称) (うち 21,642 千円)				
モネ、ルノワール、ピカソ、シャガール等 19 世紀から 20 世紀初頭のヨーロッパを代表する作家たちの作品を厳選し、印象派からエコール・ド・パリまでの近代絵画の魅力を紹介する。				
会期：令和 5 年 2 月 14 日～3 月 26 日 (予定)				
(ウ) 東広島市美術展の開催 (うち 5,220 千円)				
造形芸術活動の発表の場として、市民から公募した作品を展示する東広島市美術展を開催する。また今後「市美展」の充実を図るとともに、「市民美術の日(仮)」の開催に向けて取組んでいく。				
【活動指標】				
東広島市美術展の応募数				
一般部門 200 点・ジュニア部門 500 点				
※実績(R3) 一般部門 170 点・ジュニア部門 406 点				
イ 指定管理による美術館の管理運営 (111,500 千円(前年度 105,000 千円))				
指定管理により、美術館の維持管理及び展覧会の運営を行う。				
【活動指標】				
常設展等の開催回数 5 回				
※実績(R3) 4 回				
ウ 芸術文化振興基金への積立 (10,074 千円 (前年度 10,023 千円))				
芸術文化振興基金へ元金及び利子を積み立てる。				

事業の概要

エ 美術品購入（10,000 千円（前年度 10,000 千円））

美術館で収集する作品を購入する。

オ 所蔵作品の管理ほか（3,628 千円（前年度 4,720 千円））

作品収集（購入、寄贈・寄託）のための調査研究と所蔵作品の調査研究及び美術館の管理運営を行う。

・ 展覧会や地元作家の作品の収集（購入、寄贈・寄託）

※実績(R3) 購入 8 点、寄贈 60 点、寄託 5 点

事業の概要

戦略	2	文化財の保護と活用	予算	129,036 千円	前年度	137,269 千円
事務事業	2-1	文化財保存活用事業	予算	33,787 千円	前年度	43,144 千円

内容

2-1_文化財の保存及び活用

① 指定文化財等の管理活用 (25,826 千円 (前年度 39,089 千円))

- ・指定文化財等の保存活用及び維持管理、公開活用
- ・指定文化財所有者に対する保存修理の助成

ア 伝統的建造物群保存地区決定の推進 (うち 825 千円)

西条酒蔵通り地区の伝統的建造物群保存地区決定を推進するため、伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、保存活用計画案を策定する。

今後のスケジュール

R3	条例制定、審議会設置
R4~R5	審議会開催、エリア設定・保存活用計画案の検討及び策定、地元合意形成
R6	地区決定(都市計画決定)

- ・地域住民・地権者との意見交換会の実施。合意形成を図る。



酒蔵通り遠景 (東から)



酒蔵通りの町家群

イ オオサンショウウオの宿管理運営 (うち 1,347 千円)

国の特別天然記念物オオサンショウウオは、豊栄町内で営巣、産卵が継続的に観察され、全国的にも貴重な繁殖地域として知られている。

生育環境の変化による生息状況の悪化から、オオサンショウウオを一時的に保護する施設「オオサンショウウオの宿」の管理運営を行う。

- ・オオサンショウウオの宿で痩せ個体を保護し、回復後、放流する。

※実績 (R3.12時点)

保護：成体 2 匹 卵 118 個 (うち、35 個が死卵) 幼生 83 匹
放流：無し



オオサンショウウオの宿説明板

事業の概要

ウ 文化財関連施設の維持管理（うち 18,237 千円）

歴史民俗資料館や文化財収蔵庫等、既存の建物・土地の維持管理を実施するもの。

エ 歴史文化基本構想策定委員会の開催（うち 398 千円）

計画名 東広島市文化財保存活用地域計画

計画期間 R3～R5

実施事業 歴史文化基本構想策定委員会

・地区別計画の作成



オ 指定文化財等の管理活用（うち 5,019 千円）

ワークショップの様子

市内に所在する指定文化財等を後世に適切に伝えていくための維持管理及び、指定文化財を広く公開し、活用するもの。

【活動指標】

指定等文化財環境整備 72 件

※実績（R3）

指定等文化財環境整備 66 件



安芸国分寺歴史公園



登録有形文化財 時報塔

② 文化財の調査と保護（7,961 千円（前年度 4,055 千円））

ア 文化財保護審議会の開催（うち 748 千円）

文化財保護審議委員会（委員 15 人）

文化財の保存活用に関する諮問機関として、市内に所在する各種の文化財のうち、重要なものについて調査・審議を行い、指定・登録等の保護措置をとる。

【活動指標】

市指定文化財諮問 1 件以上

※実績（R3）1 件(予定)



黒瀬のセンダン（黒瀬町丸山）



二馬手製塩遺跡（安芸津町木谷）

イ 文化財基礎調査（うち 7,213 千円）

市内に所在する各種文化財について悉皆調査を行い、必要な保護の措置がとれるよう実態の把握を進める。

R4 予定の調査

○近代建築

○社寺建築



柄酒造（安芸津町三津）

【活動指標】

近代建築調査を 30 棟以上、うちヘリテージマネージャーによるもの 3 棟以上

※実績（R3）15 棟（うち、ヘリテージマネージャーによるもの 3 棟）

事業の概要

戦略	2	文化財の保護と活用	予算	129,036 千円	前年度	137,269 千円
事務事業	2-2	文化財施設等整備事業	予算	54,119 千円	前年度	68,346 千円

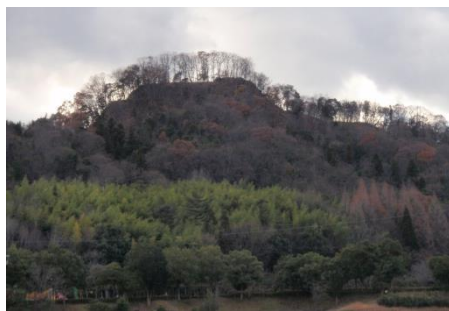
内容

2-2_文化財施設等の整備

令和3年度に続いて、(仮称)新文化財センターの整備を進める。また、文化財施設の修繕等を行う。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
新文化財センター	設計	設計	改修工事	移転供用開始	
付帯工事等	公有化		三永歴史民俗資料館移築設計	三永歴史民俗資料館移築工事	既存施設撤去工事

- ① (仮称)新文化財センターの整備 (23,120 千円 (前年度 48,854 千円))
旧久芳小学校跡地に(仮称)新文化財センターを整備するための設計業務を実施する。
- ② 史跡鏡山城跡の災害復旧 (29,210 千円 (前年度 17,283 千円))
平成30年7月豪雨で被災した史跡鏡山城跡の復旧工事を行う。



史跡鏡山城跡遠景



史跡鏡山城跡土砂崩れ箇所近景

- ③ 文化財説明板、案内標識等の新設等 (1,789 千円 (前年度 2,209 千円))
登録有形文化財榊山八幡神社等の指定・登録文化財の説明板、案内標識の設置及び既設説明板、標識等の修繕を実施し、見学者の利便性向上を図る。




旧久芳小学校跡地



安芸国分寺歴史公園説明板

【活動指標】

- 指定等文化財案内標識 2 基
- 指定等文化財説明板 3 基
- ※実績 (R3) 指定等文化財説明板 3 基

事業の概要					
戦略	2	文化財の保護と活用	予算	129,036 千円	前年度 137,269 千円
事務事業	2-3	東広島市史編さん事業	予算	17,228 千円	前年度 3,120 千円
内容					
2-3_東広島市史の編さん					
市民の郷土愛醸成のため、『東広島市史』の発刊事業を進める。事業期間は、令和3年から令和12年までの10年間を予定。市制施行50周年を迎える令和6年に第1回配本を予定。					
① 市史編さん委員会等の開催 (1,852 千円 (前年度 776 千円))					
ア 市史編さん委員会の開催 (うち 553 千円)					
基本方針、基本計画の策定					
イ 編集部会の開催 (うち 309 千円)					
実施計画の策定					
ウ 執筆委員会の開催 (うち 990 千円)					
各分野の執筆					
② 市史編さんに係る資料調査等 (15,376 千円 (前年度 2,344 千円))					
ア 資料の調査及び収集 (うち 6,795 千円)					
市史編さんに必要な歴史資料の調査及び収集					
写真撮影、デジタルデータ化を実施					
必要に応じて現物資料の受納・収蔵					
市内全域での史料調査・収集					
※実績(R3.12月時点) 4件 210点					
イ 史料のデジタル化 (うち 7,799 千円)					
【活動指標】					
資料のデジタルデータ化 30,000点					
ウ 研究及び広報普及 (うち 782 千円)					
市史編さんに資するための研究成果の報告					
成果を市民に還元するための広報紙の作成・配布					
【活動指標】					
市史だより発行 年2回					
					
他自治体の広報等					

事業の概要					
戦略	2	文化財の保護と活用	予算	129,036 千円	前年度 137,269 千円
事務事業	2-4	埋蔵文化財調査事業	予算	9,528 千円	前年度 9,386 千円

内容

2-4_埋蔵文化財の調査

① 埋蔵文化財の調査 (9,528 千円 (前年度 9,386 千円))

ア 埋蔵文化財の保存と調整

開発等によって、埋蔵文化財（遺跡）が破壊されることを防ぐため、事前にその取扱いについて調整及び指導・助言する。

- ・分布・試掘調査等…市内全域：随時
※実績（R3.12月時点）協議 1,051 件、試掘 21 件
- ・開発と遺跡保護の調整…市内全域：随時
※実績（R3.12月時点）工事届け 120 件

イ 埋蔵文化財の発掘調査

必要に応じて、記録保存のための発掘調査を行い、出土した遺物及び図面・写真等を整理・収蔵し、調査・研究する。



- ・緊急的発掘調査…市内全域：随時
※実績（R3.12月時点）11 件
- ・民間による発掘調査の監理及び指導・助言…市内全域：随時
※実績（R3.12月時点）2 件
- ・出土品等の整理・収蔵、調査・研究…随時



発掘調査の様子



発掘調査の様子

事業の概要						
戦略	2	文化財の保護と活用	予算	129,036 千円	前年度	137,269 千円
事務事業	2-5	出土文化財管理活用事業	予算	14,374 千円	前年度	13,273 千円
内容						
2-5_出土文化財の公開活用						
① 出土文化財の管理活用（14,374 千円（前年度 13,273 千円））						
埋蔵文化財（遺跡）の存在の周知に努めるとともに、そこから出土する出土文化財（土器や石器等）を適切に保存・収蔵・管理するとともに、展示や講座等で市民向けに公開・活用する。						
ア 常設展示・速報展示						
市が保管する出土文化財を展示・公開する。						
・場所 出土文化財管理センター						
・回数 2 回						
※実績（R3.12 月時点）1 回（前期展）						
イ 出土文化財企画展示						
市が保管する出土文化財を様々なテーマで調査研究した成果を展示する。						
・場所 出土文化財管理センター及び市民文化ホール（予定）						
・回数 1 回						
※実績（R3.12 月時点）1 回（テーマ「古代の東広島」予定）						
ウ 出土文化財報告会						
市内で発掘調査を実施した遺跡の成果を、写真等を用いて報告する。						
・場所 市民文化ホール						
・回数 1 回						
※実績（R3）0 回（コロナの影響あり）						
エ 講座や解説依頼への対応						
市民等からの講師派遣や各種講座、展示解説等の依頼へ対応する。						
※実績（R3）3 回 67 人						
オ 情報発信						
広報誌「東ひろしまの遺跡」やホームページ等で出土文化財の魅力を発信する。						
・広報誌：年 2 冊発行、ホームページ：随時						
※実績（R3.12 月時点）広報誌：1 冊発行、ホームページ：随時更新						
						
「企画展」見学の様子			収蔵・保管の様子			

令和 4 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	3 人づくり	施策	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり
施策の将来の目標像	市民が主体となった学習活動が活発になり、生涯にわたってスポーツを楽しめる環境が形成されています。また、東広島市の歴史・文化が伝承され、市民の文化芸術活動が活性化されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (R 1 年度)	目標値 (R 6 年度)
	生涯学習の満足度	61.5%	80%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成	主管部局・所属	生涯学習部 スポーツ振興課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	いつでも・どこでも・誰でも・地域でスポーツができる仕組みがあるまちになっています。	現状	スポーツに興味がある人は多いが、スポーツを習慣としている人の割合が低い。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市民ニーズに合ったスポーツ施設の整備が必要である。	スポーツ施設等の整備運営	高	1
	活動機会の提供によるスポーツ活動の習慣化及び指導者の育成が必要である。	スポーツ活動の普及振興	中	2
	スポーツ団体及び個人への活動支援及び競技スポーツの振興が必要である。	スポーツの活動支援の充実	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R3	R4	R5		
(7) 週に1日以上スポーツする人の割合	35.6 (H29)		42.0	43.6	45	50 (R8)	%
(1) スポーツ振興奨励金申請件数	151 (H29)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	156	161	166	171 (R8)	人
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 3 年度		297,056				
		265,099				
R 4 年度		338,296				
		245,525				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R3 当初予算額	R4 当初予算額
				R3 決算額	R4 決算額
1-1	10・6・2 スポーツ施設管理運営事業	スポーツ振興課	2.00	181,822	180,894
1-2	10・6・2 スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	1.50	66,044	106,788
2-1	10・6・1 スポーツ活動活性化事業	スポーツ振興課	3.30	38,607	39,393
3-1	10・6・1 スポーツ活動支援事業	スポーツ振興課	1.70	10,583	11,221
合計			8.50	297,056	338,296

7 R4事業費の分析（差額＝「R4年度当初予算額」－「R4年度決算額」）		
差額	分析	
8 R4 成果指標の分析（成果指標の平均達成率）		
平均達成率	分析	
9 取組の分析		
区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	決算時記載
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	
10 総合評価		
総合評価	<総評>	
11 今後の課題及び取組方針		
課題		課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
3 人づくり	6 市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	③ 生涯にわたってスポーツを楽しめる環境の形成

事業の概要			
戦略	1 スポーツ施設等の整備運営	予算 287,682 千円	前年度 247,866 千円
事務事業	1-1 スポーツ施設管理運営事業	予算 180,894 千円	前年度 181,822 千円

内容

1-1_スポーツ施設の管理運営

① スポーツ施設管理運営(180,894千円(前年度181,822千円))

ア スポーツ施設の修繕(うち11,002千円)

各スポーツ施設において、安心して安全に活動できるように老朽化した設備及び施設の修繕を行う。

(7) 設備修繕

黒瀬屋内プール集中管理パネル交換ほか3カ所

(4) 施設修繕

造賀コミュニティスポーツ広場防球ネット修繕ほか2カ所

イ 指定管理者による管理運営(うち154,951千円)

施設の配置が広範囲に及ぶことから利用者の利便性に配慮した管理を行うため、指定管理者制度を活用し効率的かつ地域事情に適した維持管理を行う。

【指定管理施設 23 カ所】

(指)：指定管理施設

区分	名称	管理
体育館	豊栄市民体育館	
	河内スポーツアリーナ	(指)
プール	黒瀬屋内プール	(指)
	安宿区民プール	
	能良区民プール	
グラウンド	八本松市民グラウンド	(指)
	志和市民グラウンド	(指)
	黒瀬市民グラウンド	(指)
	黒瀬多目的グラウンド	(指)
	福富多目的グラウンド	(指)
	豊栄市民グラウンド	
	豊栄ふれあいグラウンド	
	河内市民グラウンド	(指)
	河内区民グラウンド	
	入野区民グラウンド	(指)
	安芸津市民グラウンド	(指)

区分	名称	管理
コミュニティ スポーツ 広場	田口コミュニティスポーツ広場	(指)
	椋坂コミュニティスポーツ広場	(指)
	溝口コミュニティスポーツ広場	(指)
	造賀コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原上コミュニティスポーツ広場	(指)
	杵原下コミュニティスポーツ広場	(指)
テニスコート	豊栄テニスコート	
	豊栄屋内球技場	
	上戸野コミュニティスポーツ広場	(指)
	清武コミュニティスポーツ広場	(指)
	河内発祥園コミュニティスポーツ広場	(指)
キャンプ場	東広島市グリーンスポーツセンター	
海洋 センター	東広島市黒瀬B&G海洋センター	(指)
	東広島市安芸津B&G海洋センター	(指)
パーク ゴルフ場	東広島市福富パークゴルフ場	(指)
	東広島市河内パークゴルフ場	(指)

事業の概要					
戦略	1	スポーツ施設等の整備運営	予算	287,682 千円	前年度 247,866 千円
事務事業	1-2	スポーツ施設整備事業	予算	106,788 千円	前年度 66,044 千円

内容

1-2_スポーツ施設の整備

① スポーツ施設整備 (106,788 千円 (前年度 66,044 千円))

ア 施設の整備 (うち 44,320 千円)

(ア) 福富多目的グラウンドトイレの整備

利用者の利便性を図るため、B 球場にトイレを設置する。



トイレイメージ図



設置予定地

【新】(イ) 黒瀬多目的グラウンド手洗い・水飲み場等の整備

グラウンド内に、新型コロナウイルス感染症対策及び熱中症対策のため手洗い・水飲み場、簡易テント等を整備する。



イ 施設の解体 (うち 30,000 千円)

令和2年11月に廃止した区民プールの解体を行う。

(イ) 清武西区民プールの解体





(イ) 小田区民プールの解体



清武西区民プール



小田区民プール

事業の概要					
戦略	2	スポーツ活動の普及振興	予算	39,393 千円	前年度 38,607 千円
事務事業	2-1	スポーツ活動活性化事業	予算	39,393 千円	前年度 38,607 千円
内容					
2-1_スポーツ活動の活性化					
① スポーツ活動の充実 (39,393 千円 (前年度 38,607 千円))					
ア スポーツ教室の開催 (うち 25,310 千円)					
スポーツの振興に関する情報収集・調査研究並びに情報提供、生きがい健康体育大学や各種スポーツ教室等の開催、スポーツに関する備品・用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託する。					
(7) ニュースポーツ教室の開催等					
・開催期間：通年 (4月～3月)					
・教室数：19 イベント・教室 (約 190 回)、3,120 人					
・場 所：東広島運動公園、黒瀬・安芸津 B & G 海洋センター等					
※実績 (R3.12.時点)					
8 イベント・教室 (49 回)、1,095 人 (コロナの影響)					
					
ニュースポーツ教室 (グラウンド・ゴルフ)			健康体操教室		
イ 各種スポーツイベントの開催 (うち 6,872 千円)					
市民のスポーツの振興及び競技力の向上、また市民の健康維持や世代間交流、地域の活性化を図ることを目的に開催される各種スポーツイベントに対し、事業費補助金を交付する。					
(7) 市民スポーツ大会 (陸上の部及び球技の部)					
・実施部門：陸上の部・球技の部					
・新競技：球技の部にペタンクを追加し、4 競技で実施する。					
・場 所：東広島運動公園、福富多目的グラウンド及び河内スポーツアリーナ					
※実績 (R3)：中止 (コロナの影響)					
					
東広島市民スポーツ大会 (陸上の部)					

事業の概要

(イ) 東ひろしま新春駅伝競走大会の開催

- ・開催日：1月7日（土）
 - ・場 所：東広島運動公園陸上競技場発着近隣周回コース
- ※実績（R3）：中止（コロナの影響）



東ひろしま新春駅伝競走大会

(ウ) ひろしま県央競歩大会の開催

- ・開催日：11月27日（日）
 - ・場 所：東広島運動公園陸上競技場
- ※実績（R3）：中止（コロナの影響）

(I) トップアスリートふれあい事業（広島ドラゴンフライズの合宿受入）

トップアスリートとの交流を通して、競技スポーツへの関心を高め、競技力の向上及び競技人口の拡大を図ることを目的とし、事業費補助金を交付する。

a 小学校訪問

- ・開催日：9月
- ・場 所：市内小学校4校（抽選により訪問校を決定する）

b バスケットボールクリニック

- ・開催日：9月
- ・場 所：東広島運動公園体育館
- ・対象者：市内小・中学生

※実績（R3）：中止（コロナの影響）

※開催日等の詳細は、B-1リーグの開幕に合わせて調整する。



小学校でのバスケットボール教室



選手と小学生のふれあい

ウ 地域におけるスポーツ活動と高齢者の運動習慣づくり（うち6,172千円）

(ア) 地域で活躍する人材の育成

a スポーツ推進委員

各地域におけるスポーツの普及、実技指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、資質向上に向けた研修会を開催する。

事業の概要

- ・任 期：令和4年4月～令和6年3月
- ・委嘱人数：84人（令和2～3年度実績）
- ・研修会：市主催研修会（3回）
呉賀茂地区、広島県、中国地区及び全国大会（7回）
- ・協力支援事業：市主催事業（市民スポーツ・新春駅伝等）
県障害者スポーツ協会主催事業（フライングディスク
大会等）



スポーツ推進委員（ベタンク研修会）

b コミュニティ健康運動パートナー

地域住民の健康を地域で支える仕組みづくりに向け、コミュニティ健康運動パートナーを育成するとともに、健康寿命の延伸に向けて高齢者が無理なく取り組むことができるスポーツの普及を支援する。

【活動指標】

- ・生きがい健康体育大学受講者：50人

※実績（R3）：令和3年度生きがい健康体育大学受講者数32人

事業の概要					
戦略	3	スポーツの活動支援の充実	予算	11,221 千円	前年度 47,540 千円
事務事業	3-1	スポーツ活動支援事業	予算	11,221 千円	前年度 10,583 千円
内容					
3-1_スポーツの活動支援の充実					
① スポーツ団体の育成支援(7,136 千円(前年度 6,570 千円))					
ア 市内スポーツ団体に対する支援(うち 7,136 千円)					
(7) 東広島市スポーツ協会に団体運営補助金の交付(うち 7,136 千円)					
団体育成費：加盟競技団体(22 団体)に対する事業費等					
地域振興費：加盟地域団体(5 団体)に対する事業費等					
事業費：主催事業(トップアスリート招聘、SDGs 推進、シニア向けスポーツ活動支援等)					
② 競技スポーツの振興(4,000 千円(前年度 4,000 千円))					
ア 全国大会出場者、全国大会開催団体に対する支援(うち 4,000 千円)					
(7) 出場奨励金(うち 4,000 千円)					
全国大会又は国際大会に出場するものに奨励金を交付し、支援することにより、競技力の向上を図ることを目的とする。					
a 全国大会					
交付金額(個人)：10,000 円					
交付金額(団体)：5 人まで 50,000 円					
6 人以上 10,000 円×人数(上限 150,000 円)					
b 国際大会					
交付金額(個人)：20,000 円					
交付金額(団体)：5 人まで 100,000 円					
6 人目以降 20,000 円×人数(上限 300,000 円)					
※対象者は、市内に住所を有する者に限る。					
【活動指標】					
a 全国大会					
・個人：120 人					
・団体：25 団体					
※実績(R3.12.時点)：個人34 件、団体10 件(コロナの影響)					
b 国際大会					
・個人：6 人					
※実績(R3.12.時点)：個人0 件(コロナの影響)					

令和4年度 分野別基盤事業（予算）シート

まちづくり大綱

3 人づくり

内容

<こども未来部>

(1) 幼稚園の管理及び運営

(55,682 千円 (前年度 51,386 千円)) 【10 款 4 項 1 目】

① 幼稚園の運営

幼稚園の運営に必要な人件費、消耗品及び備品の購入等

② 幼稚園の管理

幼稚園の施設や設備を維持管理するための業務委託等

③ 八本松中央幼稚園の解体（うち 2,500 千円）

八本松駅前土地区画整理事業の区域内にある八本松中央幼稚園（令和 5 年 3 月閉園予定）の解体設計及び備品撤去等

(2) 幼児教育の支援（401,757 千円 (前年度 439,917 千円)) 【10 款 4 項 1 目】

① 私立幼稚園への助成（うち 1,605 千円）

私立幼稚園の円滑な運営及び幼児教育の充実を図るための支援

② 無償化対象者への給付（うち 400,152 千円）

利用料や預かり保育料等の対象者への給付

<学校教育部>

(1) 小学校の管理（815,253 千円 (前年度 804,295 千円)) 【10 款 2 項 1 目】

① 小学校の運営

小学校に必要な消耗品、備品の購入等

・ 新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等の購入に係る経費（うち 44,281 千円）

② 小学校の管理

小学校の施設や設備を維持管理するための業務委託及び既設仮設校舎リース料等

③ 仮設校舎リース等に係る経費

ア 既設の仮設校舎リース料

【新】イ 龍王小学校仮設校舎建築費（リース）（うち 93,550 千円）

児童数増に伴う教室不足に対応するため。

(2) 小学校の教材整備（27,469 千円 (前年度 27,249 千円)) 【10 款 2 項 2 目】

授業に必要な教材等の物品購入に係る経費

(3) 中学校の管理（334,854 千円 (前年度 377,856 千円)) 【10 款 3 項 1 目】

① 中学校の運営

中学校に必要な消耗品、備品の購入等

内容

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品等の購入に係る経費（うち 21,292 千円）
 - ② 中学校の管理
中学校の施設や設備を維持管理するための業務委託及び既設仮設校舎リース料等
 - ③ 仮設校舎リース等に係る経費
ア 既設の仮設校舎リース料
- (4) 中学校の教材整備（18,935 千円（前年度 18,819 千円））【10 款 3 項 2 目】
授業に必要な教材等の物品購入に係る経費
- (5) 学校体育施設の市民開放
（16,835 千円（前年度 17,116 千円））【10 款 6 項 2 目】
市内公立の小学校及び中学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲内で、スポーツ・レクリエーション活動を行う市内在住者で構成された団体に開放する。



学校体育施設の利用の様子（屋内運動場）

- (6) 学校給食の管理（20,586 千円（前年度 19,184 千円））【10 款 6 項 3 目】
- ① 給食従事者の健康診断及び学校給食センター内衛生管理検査の実施
（うち 6,643 千円）
【検査内容】 定期健康診断（7～8 月）、腸内細菌検査（毎月 2 回）、
ノロウイルス検査（10～3 月に月 1 回）、
衛生管理検査（年 2 回）
【健康診断対象給食従事者人数】 90 名
 - ② 給食従事者への研修の実施（うち 110 千円）
栄養教諭・学校栄養職員研修会（6 月、1 月）、学校給食業務研修会（8 月）
 - ③ 各小中学校及び幼稚園配膳室の物品等の管理（うち 4,489 千円）
 - ④ 学校給食費の公会計に係る諸経費（うち 10,795 千円）
ア 学校給食費決定通知書等送付
イ 学校給食費決定通知書印刷業務
ウ 学校給食費管理システム保守管理
小・中学校及び幼稚園の児童・生徒・園児、教職員の約 17,500 人分の給食費決定通知書の印刷や送付、システムの保守管理等

内容

【新】エ 学校給食費の収納嘱託員の設置（うち 472 千円）

学校給食費の督促・催告等、収納に関する事務を実施

(7) 学校給食センターの運営

(1, 878, 081 千円（前年度 1, 854, 156 千円））【10 款 6 項 3 目】

① 東広島学校給食センターの運営

ア 食器老朽化に伴う更新（うち 19, 948 千円）

耐用年数 5～6 年を大幅に超過した 13 年以上の使用により、表面のコーティングが剥がれ、汚れが落ちにくいなど衛生上の問題や、破損枚数も年々増加していることから、購入する。

② 西条学校給食センターの運営

③ 東広島北部学校給食センターの運営

④ 安芸津学校給食センターの運営

ア 食器老朽化に伴う更新（うち 4, 750 千円）

耐用年数 5～6 年を超過した 8 年以上の使用により、表面のコーティングが剥がれ、汚れが落ちにくいなど衛生上の問題や、破損枚数も年々増加していることから、購入する。

※ 令和 3 年度からの学校給食費公会計化に伴い、賄材料費を一般会計に計上している。

【うち各学校給食センターの賄材料費】

(千円)

東広島	西条	東広島北部	安芸津	合計
496, 895	92, 320	245, 346	40, 561	875, 122

<生涯学習部>

(1) 成人式の開催（4, 997 千円（前年度 4, 619 千円））【10 款 5 項 1 目】

新成人の前途を祝するとともに、成人として自らが社会を構成する一員であるという自覚を促すことにより、青少年の健全育成を図るため、「成人を祝う会」を開催する。

【場 所】 運動公園体育館

【開催日】 令和 5 年 1 月 9 日（予定）

【対象者】 平成 14 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日生まれの人（約 2 千人）

【実行委員】 市内中学校卒業生各 1 人、計 17 人で構成。開催準備及び当日の役割分担等を行う。



令和元年度東広島市成人を祝う会 オープニング



誓いの言葉

内容

(2) 児童青少年センターの管理

(20,574 千円 (前年度 20,441 千円)) 【10款5項1目】

- ① 人件費等にかかる経費
 - ア 児童青少年センター
センター所長 1 人、活動推進員 1 人
 - イ 第 2 児童青少年センター
センター所長 (①と兼務)、活動推進員 2 人
- ② 施設維持管理費
 - ア 委託料、使用料及び賃借料等
 - イ 事務費

